

u-DIEX HULFT インターフェース支援システム

## 操作手順書

【u-DIEX(汎用)サービス編】

2.2 版

2024/03/18

株式会社トヨタシステムズ

## 変更履歴

2004/08/16	1.0 版	新規作成
2004/11/01	1.1 版	変更 ・操作方法 ～ファイル送受信情報管理機能～ 追加
2004/12/22	1.2 版	変更 ・システム一部画面変更に伴う画面コピーの差し替え ・送信時のファイル形式の追加
2005/02/17	1.3 版	変更 ・機能改善(登録・変更受付状況表示)に伴う画面コピーの差し替え
2005/05/13	1.4 版	追加 ・受信時のファイル形式の追加(自由形式(受信情報レコード))
		変更 ・機能追加に伴う画面コピーの差し替え
2005/08/29	1.5 版	追加 ・送受信時のファイル形式の追加(自由形式(HULFT 標準))
		変更 ・機能追加に伴う画面コピーの差し替え
2005/11/28	1.6 版	変更 ・機能追加(受信時の転送単位の追加)に伴う画面コピーの差し替え
2007/06/04	1.7 版	追加 ・機能追加(定義情報の即時/日時反映機能追加)に伴う操作手順の追加 ・機能追加(定義情報のファイル出力機能追加)に伴う操作手順の追加
2011/12/12	1.8 版	変更 ・画面コピーの差し替え
2012/10/15	1.9 版	追加 ・送受信時のファイル形式の追加(TNS 標準形式(送信情報ファイル)、 TNS 拡張形式(送信情報ファイル)) ・上記に伴う画面コピーの差し替え
2013/03/04	1.10 版	追加 ・受信時のファイル形式の追加(TNS 標準形式(受信情報ファイル)、 TNS 拡張形式(受信情報ファイル)) ・上記に伴う画面コピーの差し替え
		変更 ・ファイル形式の「自由形式」を「自由形式(送/受信情報ファイル)」に変更 ・上記に伴う画面コピーの差し替え
2018/04/09	1.11 版	変更 ・一部画像を修正
2019/01/01	2.0 版	変更 ・会社名変更
2024/01/15	2.1 版	変更 ・送信情報(MSG 識別子)、受信情報にテキスト転送項目、暗号キーを追加 ・画像を修正
2024/03/18	2.2 版	変更 ・検索項目、登録項目にファイル ID 追加 ・ファイル ID の説明追加、見直し ・画像を修正

## 目次

1.	u-DIEX HULFT インターフェース支援システムについて.....	1
2.	ご利用になる前に.....	2
2.1.	ログイン.....	2
2.2.	パスワード変更.....	4
2.3.	TOP ページ.....	6
2.4.	メインメニュー.....	7
3.	操作方法 ～送受信ファイルの利用状況確認機能～.....	9
3.1.	送達確認.....	9
3.2.	受信状況確認.....	12
3.2.1.	受信状況一覧表示.....	12
3.2.2.	再受信設定.....	14
3.3.	利用履歴確認.....	16
3.3.1.	利用履歴一覧表示.....	16
3.3.2.	履歴詳細確認.....	18
4.	操作方法 ～ファイル送受信情報管理機能～.....	19
4.1.	送信情報(取引先).....	19
4.1.1.	送信情報(取引先) 一覧表示.....	19
4.1.2.	送信情報(取引先) 詳細確認.....	21
4.1.3.	送信情報(取引先) 登録.....	22
4.1.4.	送信情報(取引先) 変更.....	28
4.1.5.	送信情報(取引先) 削除.....	31
4.2.	送信情報(MSG 識別子).....	33
4.2.1.	送信情報(MSG 識別子) 一覧表示.....	33
4.2.2.	送信情報(MSG 識別子) 詳細確認.....	35
4.2.3.	送信情報(MSG 識別子) 登録.....	36
4.2.4.	送信情報(MSG 識別子) 変更.....	41
4.2.5.	送信情報(MSG 識別子) 削除.....	44
4.3.	受信情報.....	46
4.3.1.	受信情報 一覧表示.....	46
4.3.2.	受信情報 詳細確認.....	48
4.3.3.	受信情報 登録.....	49
4.3.4.	受信情報 変更.....	54
4.3.5.	受信情報 削除.....	57
5.	操作方法 ～その他機能～.....	59
5.1.	定義反映.....	59
5.1.1.	定義反映 初期画面表示.....	59
5.1.2.	定義反映 即時反映.....	59
5.1.3.	定義反映 日時指定反映.....	62
5.2.	日時指定反映一覧.....	64
5.2.1.	日時指定反映一覧 初期画面表示.....	64
5.2.2.	日時指定反映一覧 変更.....	65
5.2.3.	日時指定反映一覧 反映取消.....	67
5.3.	定義ファイル出力.....	68
5.3.1.	定義ファイル出力 ファイル出力.....	68

6.	u-DIEX(汎用)サービスの「ファイル ID」について.....	71
6.1.	送信情報の「ファイル ID」と 配信管理情報の「ファイル ID」.....	71
6.2.	受信情報の「ファイル ID」と 集信管理情報の「ファイル ID」.....	72
7.	補足.....	73
7.1.	用語説明.....	73

## 1. u-DIEX HULFT インターフェース支援システムについて

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」は、お客様が HULFT<sup>※1</sup>を通信インターフェースとして u-DIEX(汎用)サービスや u-DIEX(情報公開)サービスをご利用になる際に必要な 送受信ファイル情報の登録 や 送受信ファイルの利用状況の確認 などの機能をご提供します。

当システムご利用には、u-DIEX HULFT インターフェース支援システムである Web サイト<sup>※2</sup>を使用します。

---

※1 HULFT は、(株)セゾン情報システムズ社製のファイル転送パッケージです。

※2 u-DIEX HULFT インターフェース支援システム URL : <https://p-exftp.u-diex.jp/hulft/>

## 2. ご利用になる前に

### 2.1. ログイン

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」への申請情報の登録が完了すると、このシステムをご利用いただくために必要な“ユーザ ID<sup>※3</sup>”と“パスワード”がメールで通知されます。

当システムの Web サイトへアクセスし、通知されたユーザ ID とパスワードでログインします。

(但し、通知されるパスワードは自動的に割り当てられた仮パスワードです。初回ログイン時にパスワード変更を実施して、任意のパスワードを設定してください。)

<例> デジタル太郎さんが、初回ログインする場合を想定して、説明します。

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」の利用申請をした デジタル太郎さんの元へ TS よりユーザ ID 登録完了の通知メールが届きました。(件名 : ExFtp パスワードを初期化しました。 ) … a

(a)

メールには、

- ・ u-DIEX HULFT インターフェース支援システム URL  
: <https://p-exftp.u-diex.jp/hulft/>
- ・ ユーザ ID : Digital001
- ・ パスワード : cecfcf939e8b969896bb

が、記載されています。(b)

ExFtp パスワードを初期化しました。

送信者: center-admin@u-diex.jp  
日時: 2018年3月30日 13:33  
宛先: なし  
件名: ExFtp パスワードを初期化しました。

u-DIEX HULFTインターフェース支援システムのユーザID登録が完了いたしました。ご利用開始可能日は、このメールが送信された翌日からとなります。

ご利用前に下記ユーザIDと初回パスワードでログインしていただき、パスワードを変更することによって、u-DIEX HULFTインターフェース支援システムのご利用が可能となります。

[u-DIEX HULFTインターフェース支援システム URL]:  
<https://p-exftp.u-diex.jp/hulft/>

ユーザID: Digital001 / パスワード: cecfcf939e8b969896bb

[連絡先]  
株式会社トヨタデジタルクルーズ カスタマーセンター  
TEL:0120-202-399 FAX:052-202-0325 e-mail:helpdesk@d-cruise.co.jp

※ 本メールへの返信は回答を差上げておりません。ご了承ください。  
※ 配信元 株式会社トヨタデジタルクルーズ

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」メイン画面



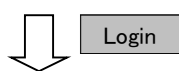
(1) Web ブラウザを起動し、通知された URL を入力します。(①)

→ 「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」メイン画面(a)が表示されます。

(2) [ Login ] ボタン(②)をクリックします。  
\* [ Cancel ] ボタンをクリックするとこの画面を終了します。

→ 「ログイン」画面(b)が、別ウィンドウで表示されます。(次ページ参照)

※3 「u-DIEX HULFT インターフェース利用申込書」でご記入いただく“管理者 ID”です。原則として1社1管理者となります。



**b**

UserID  ... ③

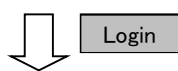
Password  ... ④

⑤

(3) ユーザ ID(③)を入力します。  
通知されたユーザ ID「Digital001」  
を入力します。

(4) パスワード(④)を入力します。  
通知されたパスワード  
「cecfcf939e8b969896bb」を入力  
します。  
\*パスワード変更後は、変更した  
パスワードを入力します。

ログイン画面



※初回ログイン時 → 「2.2 パスワード変更」へ  
※※2回目以降ログイン時 → 「2.3 TOP ページ」へ

(5) [ Login ]ボタン(⑤)をクリックしま  
す。  
\*[ Cancel ]ボタンをクリックする  
と、この画面を終了します。

## 2.2.パスワード変更

初回ログイン時には、まずパスワード変更を実施し、お客さま任意のパスワードを設定します。  
また、初回パスワード変更後も随時 Web サイトより パスワードを変更することが可能です。

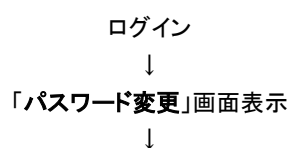
<例>デジタル太郎さんが、初回ログイン時パスワード変更する場合を想定して、説明します。

デジタル太郎さんが、「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」へ初回ログインすると、パスワードを変更する画面が表示されました。

デジタル太郎さんは、以下のようにパスワードを変更することにしました。

- ① 現在のパスワード : [ cecfcf939e8b969896bb ] (メールで通知された仮パスワードです。)
- ② 新しいパスワード : [ Dtar0 ] (お客様で任意に決定していただきます。)

\* 「新しいパスワード」に、メールで通知された仮パスワードと同じ値は設定できません。



「パスワード変更」画面(別ウィンドウ)

実行確認画面を表示 → (6)へ

→ ログイン操作の詳細については、「2.1 ログイン」を参照して下さい。

(1) ログインユーザ ID(①)を確認します。

表示された「パスワード変更」画面(a)のログインユーザ ID が、ユーザ ID「Digital001」であることを確認します。

\*ユーザ ID の変更はできません。

(2) 現在のパスワード(②)を入力します。

②のテキストボックスに現在ログインしているパスワード「cefcfcf939e8b969896bb」を入力します。

(3) 新パスワード(③)を入力します。  
③のテキストボックスに新しく使用するパスワード「Dtar0」を入力します。

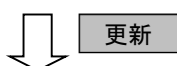
パスワードは、半角英数10文字以内で設定してください。

(4) 新パスワードの確認(④)を入力します。

確認用に新パスワードと同じ「Dtar0」を④のテキストボックスへ入力します。

(5) [更新]ボタン(⑤)をクリックします。

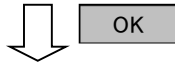
\*[戻る]ボタンをクリックすると、この画面を終了します。(パスワード変更は実行されません。)







実行確認画面 ⑥↑



(6) パスワード変更の実行確認画面 (b)が表示されます。

(7) [ OK ]ボタン(⑥)をクリックします。  
パスワード変更を実行する場合には、[ OK ]ボタン(⑥)をクリックします。

\*パスワードの変更取消しの場合には、[キャンセル]ボタンをクリックします。

(8) 処理完了を確認します。

パスワード変更が完了すると、パスワード変更画面に正常終了メッセージ(c)が表示されます。

\*この操作以降のログインには、新パスワードを使用します。

パスワード変更完了画面



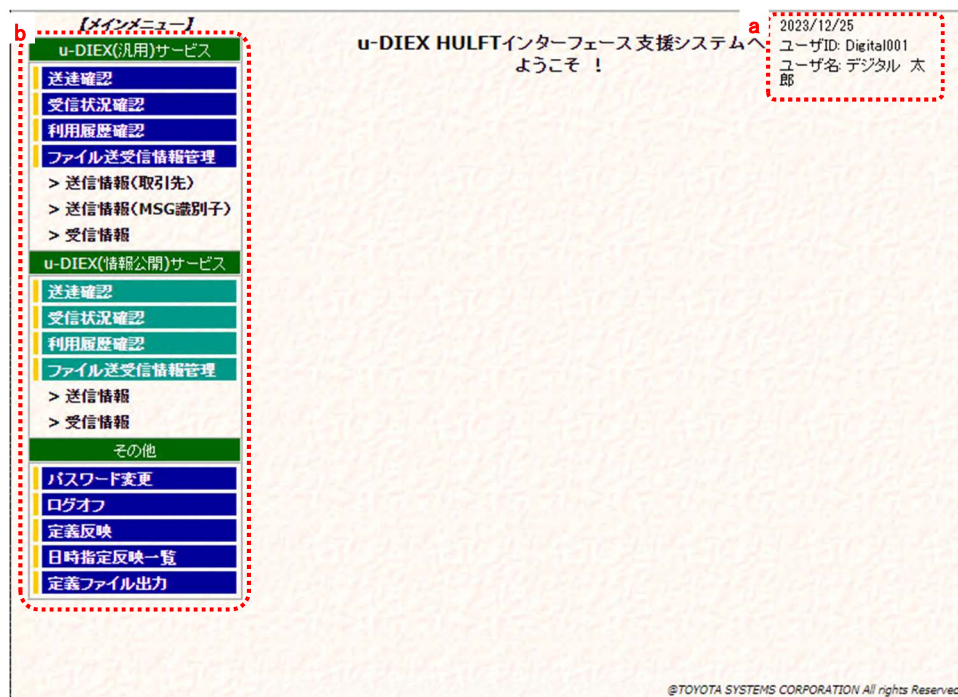
\*\*\* 再度パスワードを変更するには \*\*\*

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」のメインメニューから、「パスワード変更」を選択し、パスワードを変更します。

## 2.3.TOP ページ

TOP ページは、「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」へ ログインした時、最初に表示される画面です。  
各機能を利用するには、メインメニューより対象機能を選択します。

TOP ページ



- (1) 画面右上部(a)には、ログインした日付・ユーザ ID・ユーザ名<sup>※4</sup>が表示されます。
- (2) 画面左側部(b)には、メインメニューを表示し、各機能の操作は、このメインメニューから選択します。  
ログインしている管理者<sup>※5</sup>の利用可能な機能がメインメニューとして表示されます。  
(メインメニューについては、「2.4 メインメニュー」を参照して下さい。)

\* 上の TOP ページのメインメニューは、u-DIEX(汎用)サービス/u-DIEX(情報公開)サービス両方の利用 ID が登録されているユーザの場合です。

\* u-DIEX(汎用)サービスのみご利用の場合には、u-DIEX(情報公開)サービスの機能は表示されません。

\* u-DIEX(情報公開)サービスのみご利用の場合には、u-DIEX(汎用)サービスの機能は表示されません。

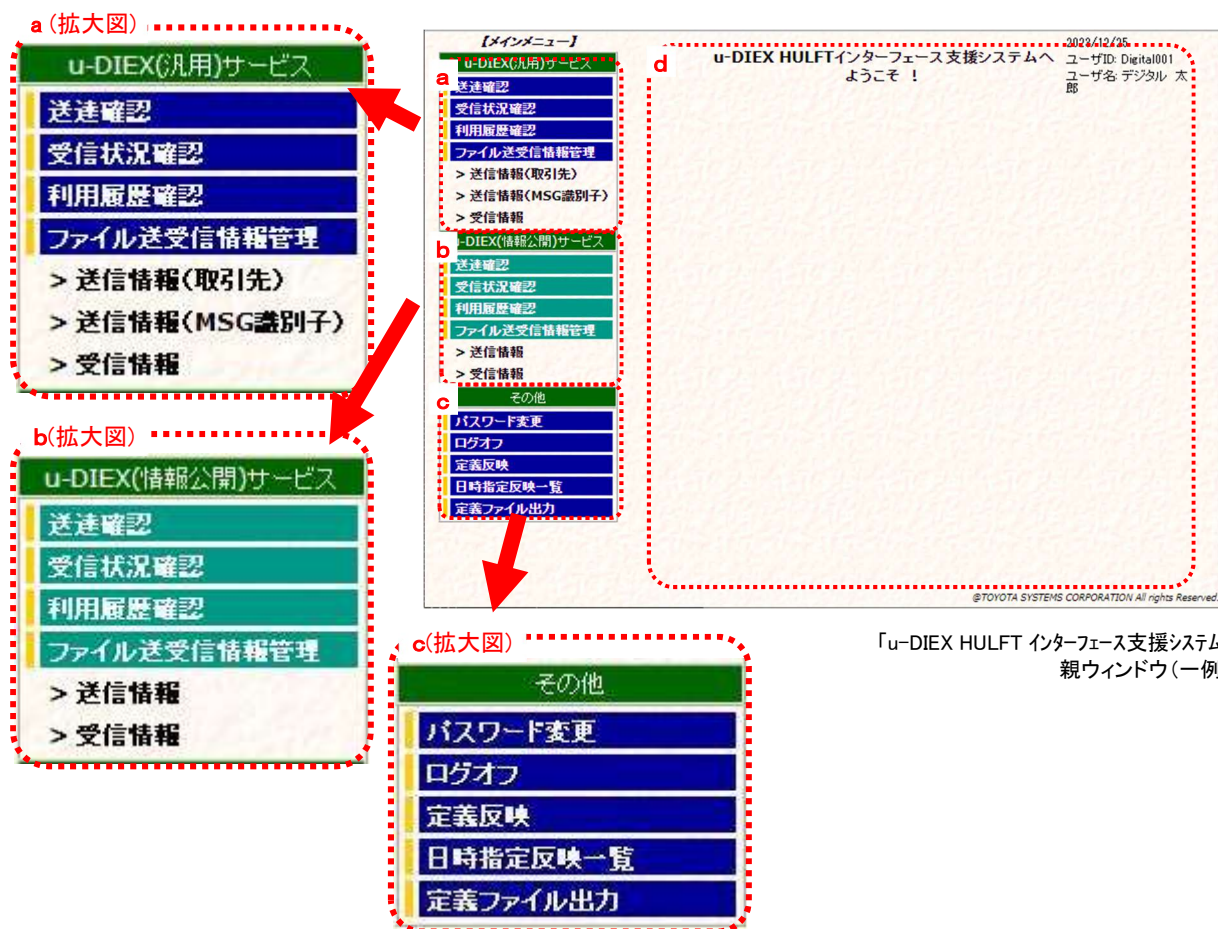
\* 各サービスの利用には、ID(EDI-ID(汎用)/ユーザ ID(情報公開))の申請と、TS での登録が必要です。

※4 「u-DIEX HULFT インターフェース利用申込書」でご記入いただく“管理者名”です。

※5 「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」(Web)をご利用いただくために設定いただく管理者 ID のお客様管理者です。原則として1社1管理者となります。

## 2.4.メインメニュー

メインメニューは、「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」の親ウィンドウに表示されています。  
 「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」で ご提供する各機能を利用いただくには、このメインメニューより利用機能を選択していただきます。(選択したメニューの機能画面は、親ウィンドウの右側(d)に表示されます。)  
 メインメニューに表示される機能は、お客様から申請された利用 ID (EDI-ID/ユーザ ID) の対象サービス※6 によって異なります。



「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」  
親ウィンドウ(一例)

### (1) u-DIEX(汎用)サービス

u-DIEX(汎用)サービスの利用 ID(EDI-ID)の申請後、登録された管理者がログインした場合に表示されるメニュー(a)です。u-DIEX(汎用)サービスでご提供する機能のメニューが表示されます。

ご利用頂ける機能は、以下の通りです。

- ① 送達確認  
ログインしている管理者の管理対象 EDI-ID で送信したファイルが、送信先で未読(未受信)状態にあるか既読(受信済)状態にあるかを確認できます。
- ② 受信状況確認  
ログインしている管理者の管理対象 EDI-ID で受信可能なファイルが、センタで未読(未受信)状態にあるか既読(受信済)状態にあるかを確認できます。また、既読(受信済)ファイルの再受信設定が可能です。
- ③ 利用履歴確認  
ログインしている管理者の管理対象 EDI-ID で利用した送受信操作の履歴を確認できます。
- ④ ファイル送受信情報管理  
ログインしている管理者の管理対象 EDI-ID で、送受信するために必要な情報を設定することができます。

※6 u-DIEX(汎用)サービス または u-DIEX(情報公開)サービス

(2) その他

ご利用いただくサービスの種類に関わらず、表示されるメニュー(c)です。

ご利用頂ける機能は、以下の通りです。

① パスワード変更

パスワードの変更ができます。

② ログオフ

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」を終了します。

③ 定義反映

画面上で登録したファイル送受信情報のセンタ上への更新ができます。

④ 日時指定反映一覧

定義反映機能で日時指定反映を指定した内容の確認ができます。

⑤ 定義ファイル出力

お客様のユーザ情報、ファイル送受信情報のデータをお客様の端末等へ出力できます。

- \* u-DIEX(情報公開)サービスの各種機能(b)については、「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム操作手順書【u-DIEX(情報公開)サービス編】」をご参照ください。

### 3. 操作方法 ～送受信ファイルの利用状況確認機能～

#### 3.1.送達確認

ログインしている管理者※7の管理対象 EDI-ID で送信したファイルが、送信先で未読(未受信)状態にあるか既読(受信済)状態にあるかを確認できます。

送信した EDI-ID、宛先の取引先コードとサブアドレス、送信日付などの検索条件を指定し、一致する送信ファイルの情報を検索、一覧で表示します。

##### (1) 送達確認画面を表示します。

「送達確認【u-DIEX(汎用)サービス】」画面

送達確認【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/03/06  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: テジタル 太郎

① 送達確認

②

管理名: O999T01  
宛先コード: 宛先サブアドレス  
MSG識別子: ...前方一致検索 } 検索条件  
ファイルID: ...前方一致検索 } 入力欄  
受信状況: 全て  
送信日: 2024/03/06 [検索]

No	MSG識別子	ファイルID	サイズ(KB)	受信状況	送信日
----	--------	--------	---------	------	-----

① メインメニューの中から、u-DIEX(汎用)サービスの「送達確認」をクリックします。

② 画面右側が、「送達確認【u-DIEX(汎用)サービス】」画面へ遷移します。

##### (2) 検索条件を入力し、検索します。

①

管理名: O999T01  
宛先コード: 8489 宛先サブアドレス: 001  
MSG識別子: ITDC ...前方一致検索  
ファイルID: ...前方一致検索  
受信状況: 全て  
送信日: 2024/03/06 [④ 検索]

※7 「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」(Web)をご利用いただくために設定いただく管理者 ID のお客様管理者です。原則として1社1管理者となります。

① 検索条件を入力します。

(1)-②の検索条件入力欄に検索条件を入力します。

- ・ 管理名<sup>※8</sup> : 送信 EDI-ID となる管理名を選択します。
- ・ 宛先コード : ファイルを送信した宛先の取引先コードを入力します。**(入力必須)**
- ・ 宛先サブアドレス : 宛先コードに付随する拠点コードを入力します。
- ・ MSG識別子<sup>※9</sup> : MSG 識別子を入力します。(未入力時は全 MSG 識別子が対象)
- ・ ファイル ID : ファイル ID を入力します。
- ・ 受信状況 : 相手先での受信状況を指定します。「全て」「未読」「既読」から選択します。
- ・ 送信日 : 確認したい日付(送信した日付)を入力します。(yyyy/mm/dd 形式で入力) **(入力必須)**

[検索]ボタンをクリックします。

(2)-①で設定した検索条件に該当する送信ファイルの情報を検索します。

(3) 一覧表示された検索結果を確認します。

The screenshot shows the 'u-DIEX(汎用)サービス' search page. The search criteria are: Management Name: O999T01, Recipient Code: 8489, Recipient Sub-address: 001, MSG Identifier: ITDC, File ID: (empty), and Status: All. The search date is 2024/03/06. The search results table is as follows:

No	MSG識別子	ファイルID	サイズ(KB)	受信状況	送信日
1	ITDCF01	ITDCF01	1	未読	2024/03/06 14:

① 検索条件に該当する情報が一覧で表示されます。

(2)で設定した「管理名」「宛先コード」「宛先サブアドレス」「MSG 識別子」「受信状況」「送信日」の検索条件に該当する送信ファイルの情報が一覧で表示されます。

- ・ MSG識別子 : 送信ファイルの MSG 識別子が表示されます。  
検索条件に入力された文字列に前方一致する MSG 識別子が表示されます。
- ・ ファイル ID : 送信ファイルのファイル ID が表示されます。  
検索条件に入力された文字列に前方一致するファイル ID が表示されます。
- ・ サイズ(KB) : 送信ファイルのファイルサイズ(単位:KB)が表示されます。

※8 ファイル送受信に必要な諸情報を管理する為に付与される名称です。通常は「EDI-ID」となりますが、ご利用形態によって「EDI-ID\_取引先コード」「EDI-ID\_ホスト名」など表記が異なる場合があります。

※9 「メッセージ識別子」のこととなります。

- ・ 受信状況 : 送信ファイルが相手先で受信されたかどうかが表示されます。  
受信済の場合は、「既読」が表示されます。  
未受信の場合は、「未読」が表示されます。
- ・ 送信日 : ファイルを送信した日時が表示されます。
- ・ 受信日 : 相手先でファイルが受信された日時が表示されます。

## 3.2.受信状況確認

ログインしている管理者の管理対象 EDI-ID で受信可能なファイルが、センタで未読(未受信)状態にあるか既読(受信済)状態にあるかを確認できます。また、既読(受信済)ファイルの再受信設定は、この画面から行います。

### 3.2.1. 受信状況一覧表示

受信する EDI-ID、発信元 EDI-ID、送信日付などの検索条件を指定し、一致する受信ファイルの情報を検索し、一覧で表示します。

#### (1) 受信状況確認画面を表示します。

「受信状況確認【u-DIEX(汎用)サービス】画面

① メインメニューの中から、u-DIEX(汎用)サービスの「受信状況確認」をクリックします。

② 画面右側が、「受信状況確認【u-DIEX(汎用)サービス】」画面へ遷移します。

#### (2) 検索条件を入力し、検索します。

① 検索条件を入力します。

(1)-②の検索条件入力欄に検索条件を入力します。

- ・ 管理名 : 受信 EDI-ID となる管理名を選択します。
- ・ MSG識別子 : MSG 識別子を入力します。(未入力時は全 MSG 識別子が対象)
- ・ ファイルID : ファイル ID を入力します。
- ・ 発信元 EDI-ID : 発信元の EDI-ID を入力します。(未入力時は全 EDI-ID が対象)
- ・ 受信状況 : 「全て」「未読」「既読」から選択します。
- ・ 送信日 : 送信された日付を入力します。(yyyy/mm/dd 形式で入力) **(入力必須)**  
現在日から過去 15 日分のみ確認できます。

② [検索]ボタンをクリックします。

(2)-①で設定した検索条件に該当する受信ファイルの情報を検索します。



(3) 受信状況の検索結果を一覧で表示します。

The screenshot shows the '受信状況確認【u-DIEX(汎用)サービス】' page. On the left is a navigation menu with options like '送信確認', '受信状況確認', and 'ファイル送受信情報管理'. The main area contains search filters: '管理名' (O999T02), 'MSG識別子' (ITDC), 'ファイルID', '発信元EDI-ID' (O999T01), '受信状況' (全て), and '送信日' (2024/03/06). A '再受信' button is also present. Below the filters, a table titled '検索結果一覧' displays one result:

C	MSG識別子	ファイルID	サイズ(KB)	発信元	送信
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	1	O999T01	O999T02

① 検索条件に該当する情報が一覧で表示されます。

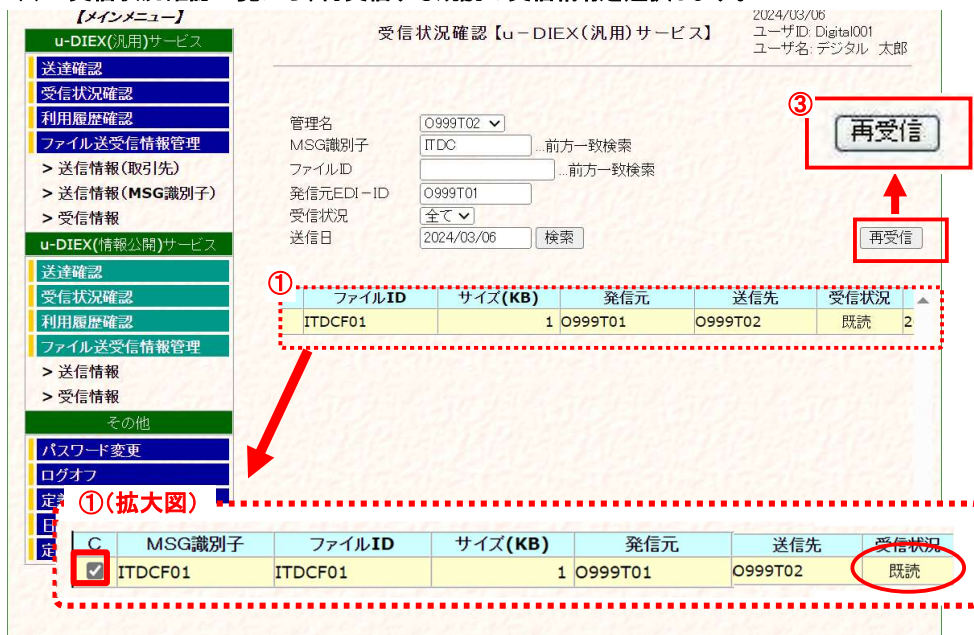
(2)で設定した「管理名」「MSG 識別子」「発信元 EDI-ID」「受信状況」「送信日」の検索条件に該当する受信ファイルの情報が一覧で表示されます。

- ・ C : 「再受信」要求処理を実行する対象の、受信ファイル情報選択時に使用するチェックボックスです。
- ・ MSG識別子 : 受信ファイルの MSG 識別子が表示されます。  
検索条件に入力された文字列に前方一致する MSG 識別子が表示されます。
- ・ ファイル ID : 受信ファイルのファイル ID が表示されます。  
検索条件に入力された文字列に前方一致するファイル ID が表示されます。
- ・ サイズ(KB) : 受信ファイルのファイルサイズ(単位:KB)が表示されます。
- ・ 発信元 : 受信ファイルの発信元が表示されます。
- ・ 送信先 : 受信ファイルの送信先が表示されます。
- ・ 受信状況 : 受信可能ファイルが受信済かどうか表示されます。  
受信済の場合は、「既読」が表示されます。  
未受信の場合は、「未読」が表示されます。
- ・ 送信日 : ファイルが送信された日時が表示されます。
- ・ 受信日 : ファイルを受信した日時が表示されます。

### 3.2.2. 再受信設定

指定した受信ファイルの情報をコピーし、受信状況を「未読」に変更することで、再受信可能な状態にします。

#### (1) 受信状況確認一覧から、再受信する既読の受信情報を選択します。

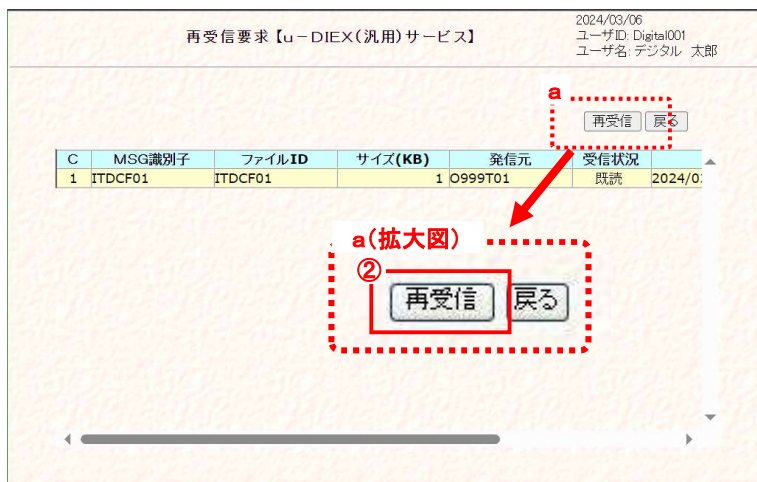


① 「3.2.1 受信状況一覧表示」の手順に従い、再受信の対象となる受信情報を含む一覧を表示します。

② 再受信する受信情報のチェックボックスをオンにします。  
 受信状況が「既読」の受信ファイルのみ、再受信設定が可能となります。(b)

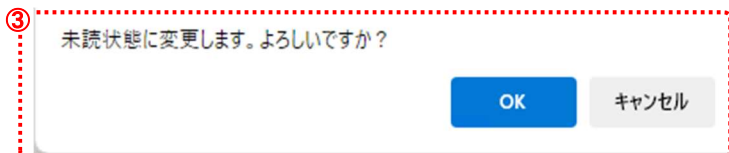
③ [再受信]ボタンをクリックします。  
 選択した受信情報の「再受信要求」画面が別ウィンドウで表示されます。

#### (2) 再受信設定を実行します。



① 再受信対象情報を確認します。  
 「再受信要求」画面に表示された既読の受信情報が、再受信対象情報であることを確認します。

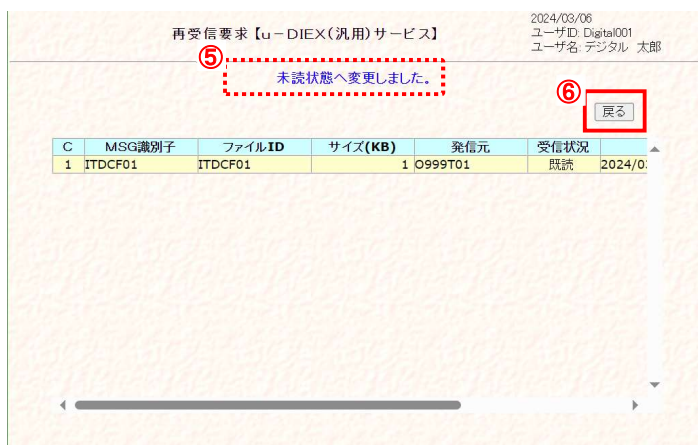
② [再受信]ボタンをクリックします。  
 対象の受信情報(①)の再受信要求処理を実行します。  
 \*[戻る]ボタンをクリックすると、再受信要求処理を破棄し、この画面を終了します。



③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
再受信要求の実行を確認します。

④ ↑

④ [OK]ボタンをクリックします。  
再受信要求処理を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。

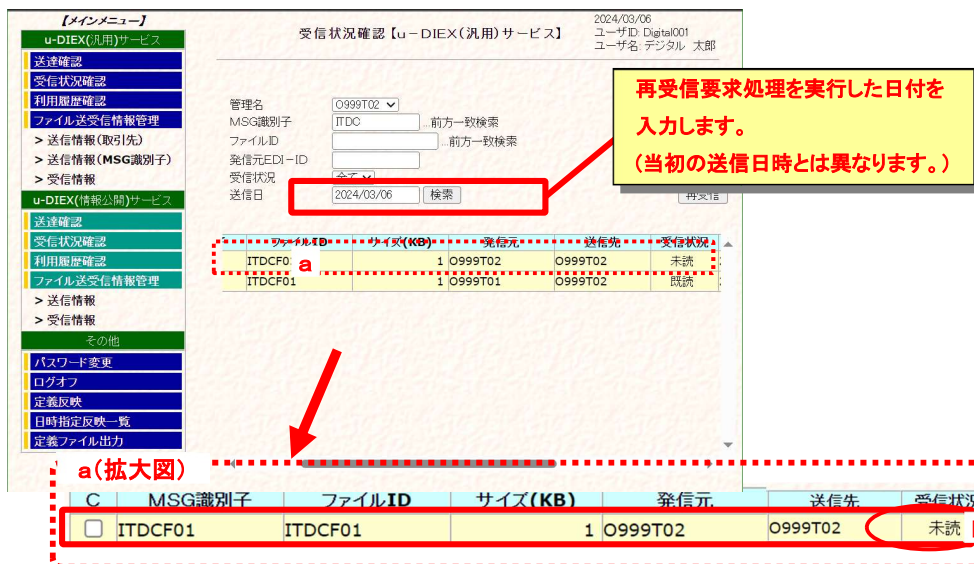


⑤ 再受信要求処理の正常終了を確認します。  
再受信要求処理が正常終了すると、処理完了のメッセージが表示されます。

⑥ 再受信要求画面を終了します。  
[戻る]ボタンをクリックし、このウィンドウを閉じます。

### (3) 受信状況確認一覧で確認します。

受信状況確認で再度検索、一覧で受信情報を表示(a)し、再受信要求処理を行ったファイルがコピーされ、その受信状況が「未読」へ変更(b)されていることを確認します。これで再受信が可能となります。



実際にファイルを受信するためには、お客様の HULFT から受信操作を実施して頂く必要があります。

### 3.3.利用履歴確認

ログインしている管理者の管理対象 EDI-ID で利用した送受信操作の履歴を確認できます。

#### 3.3.1. 利用履歴一覧表示

ログインしている管理者の管理対象 EDI-ID、処理種別、処理結果、処理完了日などの検索条件を指定し、一致する送受信操作の履歴を検索し、一覧で表示します。

##### (1) 利用履歴確認画面を表示します。

「利用履歴確認【u-DIEX(汎用)サービス】画面

① メインメニューの中から、u-DIEX(汎用)サービスの「利用履歴確認」をクリックします。

② 画面右側が、「利用履歴確認【u-DIEX(汎用)サービス】」画面へ遷移します。

##### (2) 検索条件を入力し、条件に該当する利用履歴を検索します。

##### ① 検索条件を入力します。

(1)-②の検索条件入力欄に検索条件を入力します。

- ・ 管理名 : 管理名を選択します。
- ・ MSG識別子 : MSG 識別子を入力します。(前方一致検索可。未入力時は全 MSG 識別子が対象)
- ・ ファイルID : ファイル ID を入力します。(前方一致検索可。未入力時は全 MSG 識別子が対象)
- ・ 処理種別 : 「全て」「送信」「受信」から選択します。
- ・ 処理結果 : 「全て」「正常終了」「異常終了」から選択します。
- ・ 処理完了日 : 処理が完了した日付を選択します。  
現在日から過去 15 日分の日付が選択肢として表示されます。

##### ② [検索]ボタンをクリックします。

- ・ (2)-①で設定した検索条件に該当する送受信操作の利用履歴を検索します。

(3) 利用履歴の検索結果を一覧で表示します。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

2024/03/06  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

利用履歴確認【u-DIEX(汎用)サービス】

管理名: O999T01  
MSG識別子: ITDCF01 ...前方一致検索  
ファイルID: ...前方一致検索  
処理種別: 送信  
処理結果: 正常終了  
処理完了日: 2024/03/06 検索

検索結果一覧

C	MSG識別子	ファイルID	発信元	送信先	処理種
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	O999T01	O999T02	送信

① 検索条件に該当する操作履歴情報が一覧で表示されます。

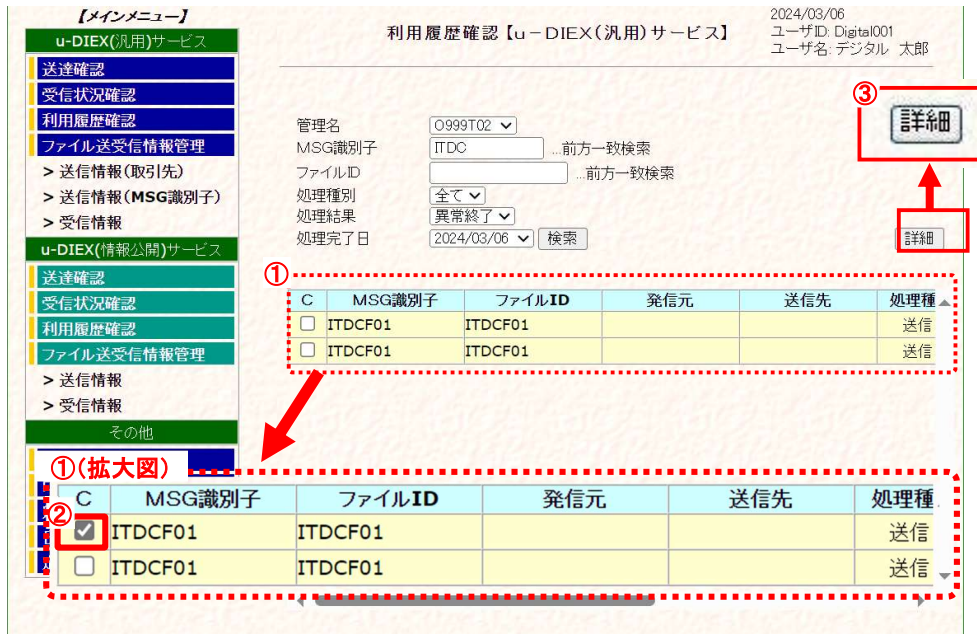
(2)で設定した「管理名」「MSG 識別子」「処理種別」「処理結果」「処理完了日」の検索条件に該当する操作履歴が一覧で表示されます。

- ・ C : 詳細情報を確認する対象の、操作履歴情報選択時に使用するチェックボックスです。
- ・ MSG識別子 : 送受信ファイルの MSG 識別子が表示されます。  
検索条件に入力された文字列に前方一致する MSG 識別子が表示されます。
- ・ ファイル ID : 送受信ファイルのファイル ID が表示されます。  
検索条件に入力された文字列に前方一致するファイル ID が表示されます。
- ・ 発信元 : ファイルを送信した側の EDI-ID が表示されます。
- ・ 送信先 : ファイルを受信する側の EDI-ID が表示されます。
- ・ 処理種別 : 操作した処理(送信/受信)が表示されます。
- ・ 開始日時 : 操作した処理(送信/受信)がセンタ上で開始された日時が表示されます。
- ・ 終了日時 : 操作した処理(送信/受信)がセンタ上で完了した日時が表示されます。
- ・ 処理結果 : 操作した処理(送信/受信)の結果(正常終了/異常終了)が表示されます。

### 3.3.2. 履歴詳細確認

一覧表示された操作履歴の中から、ある1データの詳細情報を確認します。

(1) 利用履歴確認一覧から、詳細確認する既存の利用履歴情報を選択します。



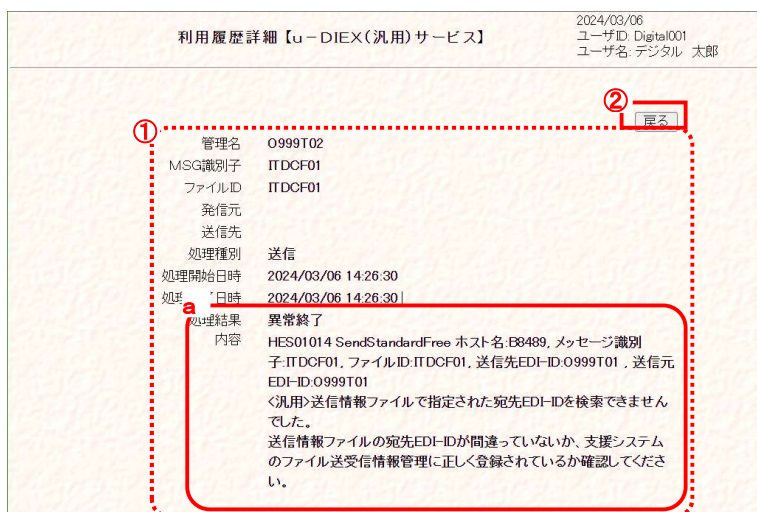
① 「3.3.1 利用履歴一覧表示」の手順に従い、詳細確認の対象となる履歴情報を含む一覧を表示します。

② 詳細確認する利用履歴情報のチェックボックスをオンにします。

③ [詳細]ボタンをクリックします。

選択した利用履歴情報の「利用履歴詳細」画面が別ウィンドウで表示されます。

(2) 利用履歴詳細内容を確認します。



① 利用履歴の詳細内容を確認します。

・内容 (a):  
処理結果が「異常終了」のとき、その原因が表示されます。エラー発生時に、管理者様宛に通知されるメールの内容と同じです。

② 利用履歴詳細画面を終了します。  
[戻る]ボタンをクリックし、このウィンドウを閉じます。

## 4. 操作方法 ～ ファイル送受信情報管理機能 ～

ログインしている管理者※<sup>10</sup>の管理対象 EDI-ID で、送受信するために必要な情報を設定することができます。

### 4.1.送信情報(取引先)

u-DIEX(汎用)サービスでデータを送信する宛先(取引先)の情報を、「管理名※<sup>11</sup>」単位で管理します。登録、変更、削除、表示の各操作を行うことができます。

ファイル送信時に必要な宛先の情報を管理する「アドレス帳マスタ」の役割を持ち、ここでの登録情報が無い宛先には、ファイルを送信することができません。

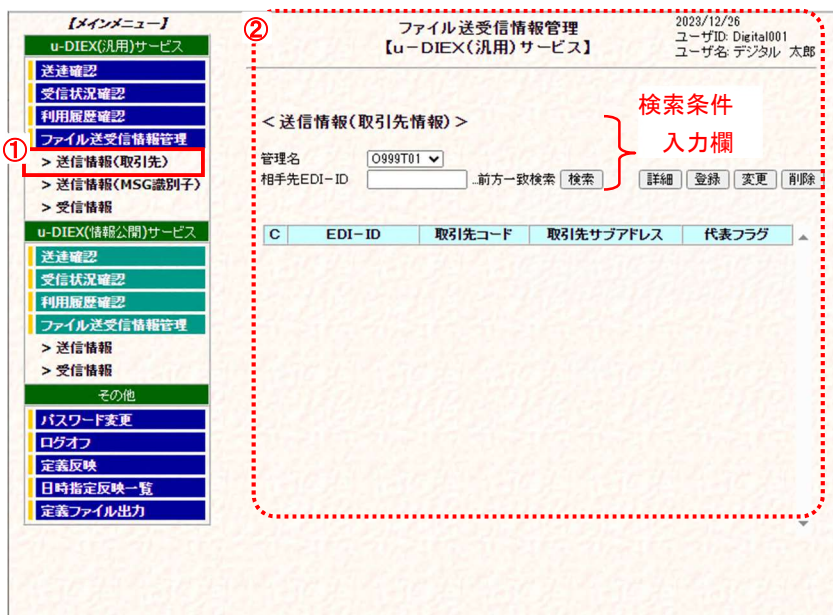
#### 4.1.1. 送信情報(取引先) 一覧表示

ログインしている管理者によって既に登録されている送信情報(取引先)について、発信元 EDI-ID、相手先 EDI-ID などの検索条件を指定し、一致する取引先情報を検索、一覧で表示します。

<例>以下の条件に該当する既存の送信情報(取引先)を一覧表示します。

- ・ 発信元の EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ 相手先 EDI-ID = [ O ]で始まる

(1) 送信情報(取引先情報)画面を表示します。



- ① メインメニューの中から、「u-DIEX(汎用)サービス」の「送信情報(取引先)」をクリックします。
- ② 画面右側が、「ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】<送信情報(取引先情報)>」画面へ遷移したことを確認します。

「ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】<送信情報(取引先情報)>」画面

※<sup>10</sup> 「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」(Web)をご利用いただくために設定いただく管理者 ID のお客様管理者です。原則として1社1管理者となります。

※<sup>11</sup> ファイル送受信に必要な諸情報を管理する為に付与される名称です。通常は「EDI-ID」となりますが、ご利用形態によって「EDI-ID\_取引先コード」「EDI-ID\_ホスト名」など表記が異なる場合があります。

(2) 検索条件を入力し、検索します。

① 管理名 O999T01  
 相手先EDI-ID 0 検索 前方一致検索

① 検索条件を入力します。

(1)-②の検索条件入力欄に検索条件を入力します。

- ・ 管理名 : 発信元 EDI-ID となる管理名を選択します。
- ・ 相手先 EDI-ID : 宛先の EDI-ID を入力します。(未入力時は全取引先コードが対象)

② [検索]ボタンをクリックします。

(2)-①で設定した検索条件に該当する送信情報(取引先)を検索します。

(3) 送信情報(取引先情報)の検索結果を一覧で表示します。

【メインメニュー】 ファイル送受信情報管理 2023/12/25  
 u-DIEX(汎用)サービス ユーザID: Digital001  
 【u-DIEX(汎用)サービス】 ユーザ名: デジタル 太郎

<送信情報(取引先情報)>

管理名 O999T01  
 相手先EDI-ID 0 検索 前方一致検索 詳細 登録 変更 削除

C	EDI-ID	取引先コード	取引先サブアドレス	代表フラグ
<input type="checkbox"/>	O999T02	8489	001	代表
<input type="checkbox"/>	OCDE003	T0021	003	代表
<input type="checkbox"/>	OTDC99Z	T0030	001	代表

①

©TOYOTA SYSTEMS CORPORATION All rights Reserved.

検索条件に該当する情報が一覧で表示されます。

- ・ C : 詳細確認、変更・削除処理を実行する対象の、送信情報(取引先)選択時に使用するチェックボックスです。
- ・ EDI-ID : 宛先の EDI-ID が表示されます。
- ・ 取引先コード : 宛先の取引先コードが表示されます。
- ・ 取引先サブアドレス : 宛先の取引先サブアドレスが表示されます。
- ・ 代表フラグ : 代表 EDI-ID に表示されます

※画面上濃い黄色となっている行は、登録・変更が受け付けられた内容です。HULFT I/F Web 支援システムの画面上では登録・変更されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。



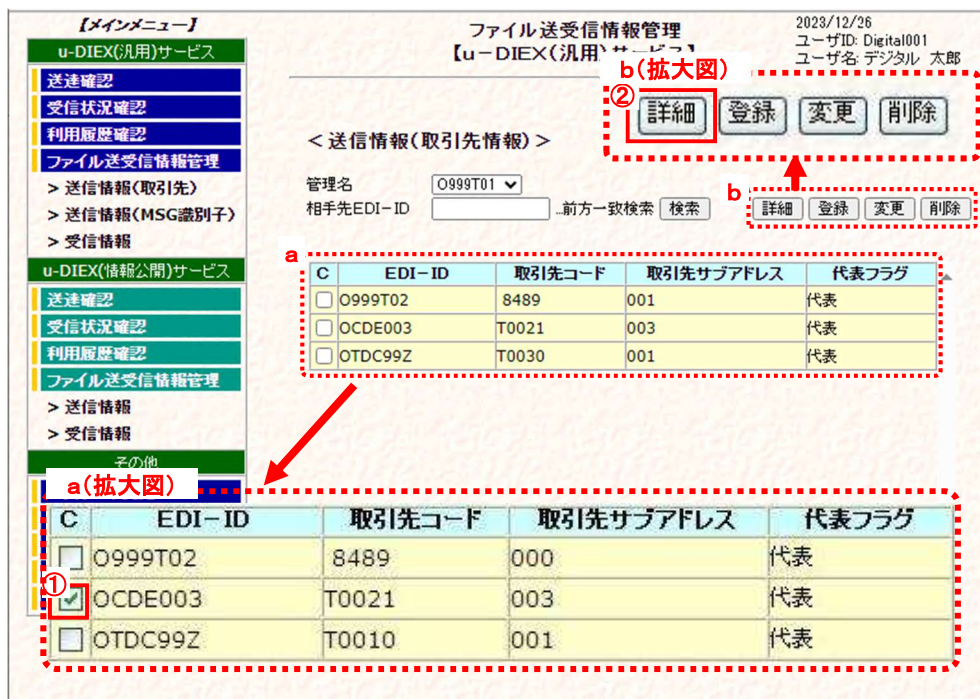
#### 4.1.2. 送信情報(取引先) 詳細確認

一覧表示された送信情報(取引先)の中から、ある1データの詳細情報を確認します。

<例>以下の条件に該当する既存の送信情報(取引先)の詳細情報を表示します。

- ・ 発信元の EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ 相手先 EDI-ID = [ OCDE001 ]

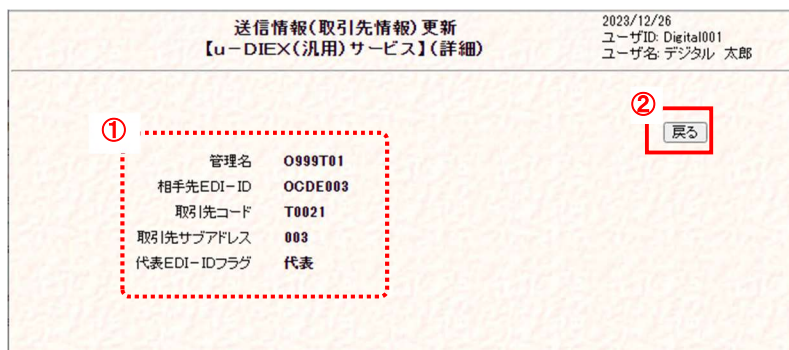
(1) 送信情報(取引先情報)一覧から、詳細確認する対象を選択します。



① 詳細確認する対象の送信情報(取引先)のチェックボックスをオンにします。

② [詳細]ボタンをクリックします。

(2) 詳細情報を確認します。



① 送信情報(取引先情報)の詳細を確認します。

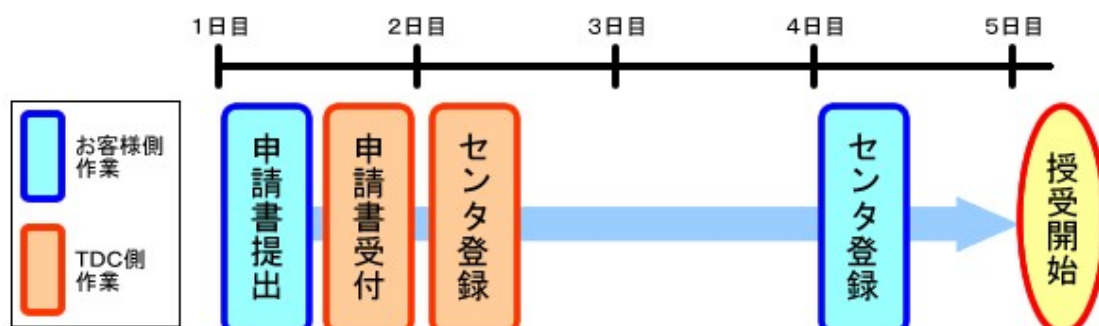
② [戻る]ボタンをクリックします。  
このウィンドウを閉じます。

### 4.1.3. 送信情報(取引先)登録

データ授受の宛先を新規登録します。

#### \*\*\* 注意 \*\*\*

- ☑ 送信情報(取引先)として登録するためには、事前に宛先となる取引先の申請とTSでの登録が必要です。  
「u-DIEX(汎用)サービス申込書」で、データ授受開始希望日の**5営業日前までに、パートナー登録の追加申請**を行ってください。  
DIEX(汎用)サービスの「サービス管理者機能(サビ管)」で行っていただいていたパートナー登録の操作は、u-DIEX(汎用)サービスではご利用いただけません。下記のフローに従って、申請・登録を実施していただく必要がありますので、ご注意ください。

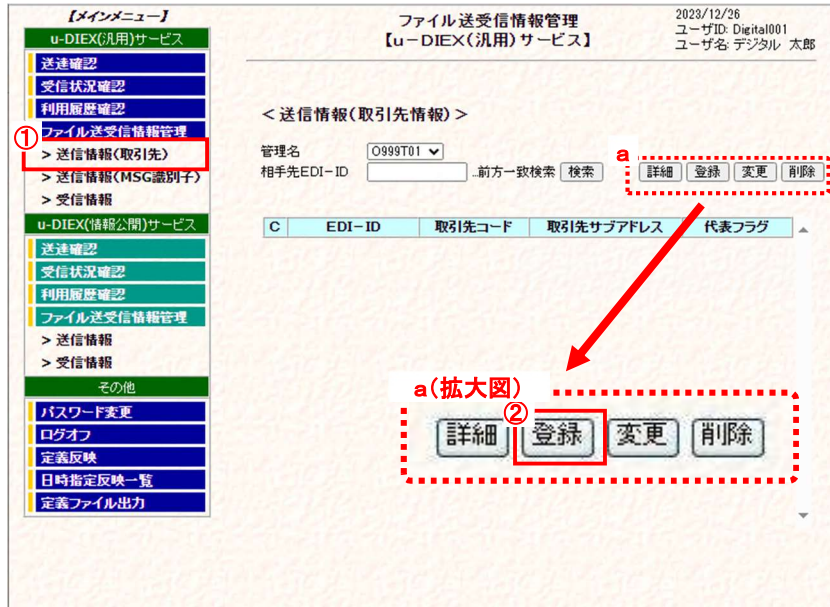


- ☑ 新規登録した送信情報(取引先)を利用してのファイル送信は、**反映実施日時以降**からとなります。  
(登録内容がセンタに反映されるのは、反映実施日時以降です。)  
データ授受開始の**実施日**までに、登録/反映(お客様側作業)を行ってください。  
尚、万一の障害発生時には、反映前の登録情報を復元させていただきます。  
お手数ですが、有事の際にはその時点以降に更新された分の再登録をお願いいたします。
- ☑ 画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時で更新、日時指定反映では指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日反映(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。  
(反映された時点で、通常の表示色になります。)

<例> 以下の内容で新規の送信情報(取引先)を登録します。

- ・ 発信元の EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ 相手先 EDI-ID = [ OABC001 ]
- ・ 取引先コード = [ T0001 ]

(1) 送信情報(取引先情報)登録画面を表示します。



① メインメニューの中から、u-DIEX(汎用)サービスの「送信情報(取引先)」をクリックします。

② [登録]ボタンをクリックします。「ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】<送信情報(取引先情報)>」画面にある(a)[登録]ボタンをクリックし、「送信情報(取引先情報)登録」画面を別ウィンドウで表示します。(次ページ(2)画面イメージ参照)

(2) 新規登録内容を入力します。

「送信情報(取引先情報)登録」画面

C	相手先EDI-ID
<input type="checkbox"/>	O999T02
<input type="checkbox"/>	OABC001
<input type="checkbox"/>	OCDE003
<input type="checkbox"/>	OTDC99Z

C	相手先EDI-ID
<input type="checkbox"/>	O999T02
<input checked="" type="checkbox"/>	OABC001
<input type="checkbox"/>	OCDE003
<input type="checkbox"/>	OTDC99Z

「取引先一覧」画面

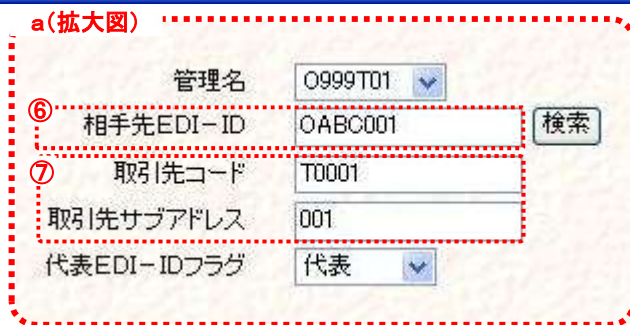
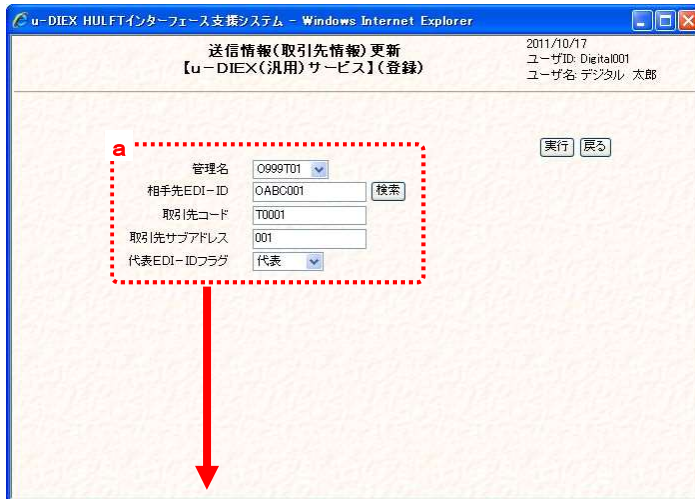
① 管理名を選択します。  
→ “O999T01”を選択

② 登録可能な相手先の EDI-ID を検索するため、[検索] ボタンをクリックします。  
「取引先一覧」画面を別ウィンドウで表示します。

③ 検索条件となる相手先 EDI-ID を「相手先 EDI-ID」テキストボックス (b) に入力し、[検索] ボタンをクリックします。  
→ “0” や “OABC” などを入力

④ 取引先を選択します。  
検索によって表示された相手先 EDI-ID 一覧(c) から、取引先に設定するチェックボックスをオンにします。  
→ “OABC001” のチェックボックスをオン

⑤ [選択] ボタンをクリックします。



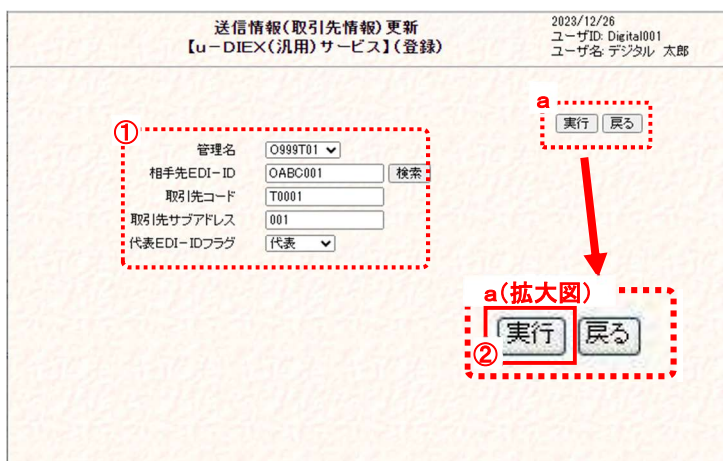
- ⑥ 選択した相手先の EDI-ID が反映されていることを確認します。
- ⑦ 「取引先コード」・「取引先サブアドレス」を入力します。  
→ “T0001”、“001”と入力
- ⑧ 「代表 EDI-ID フラグ」を選択します。  
→ “代表”を選択

◆ 項目説明

- ・ 管理名 : 発信元 EDI-ID となる管理名を選択します。
- ・ 相手先 EDI-ID : 宛先の EDI-ID を入力します。**(入力必須)**
- ・ 取引先コード : 宛先の取引先コード(5桁)を入力します。**(入力必須)**
- ・ 取引先サブアドレス : 宛先の取引先コードに付随する拠点コード(3桁)を入力します。
- ・ 代表 EDI-ID フラグ : 通常「代表」を選択します。  
1つの取引先コードに所属する EDI-ID が複数登録されていて、その取引先コード宛の「TNS 標準形式」のファイルを送信する際に宛先となる EDI-ID に「代表」を選択します。

※ 「相手先 EDI-ID」は一覧から選択せず、直接入力することも可能です。  
ただし、登録可能な取引先として一覧に存在していない場合は、宛先として登録できません。

(3) 送信情報(取引先情報)を登録します。

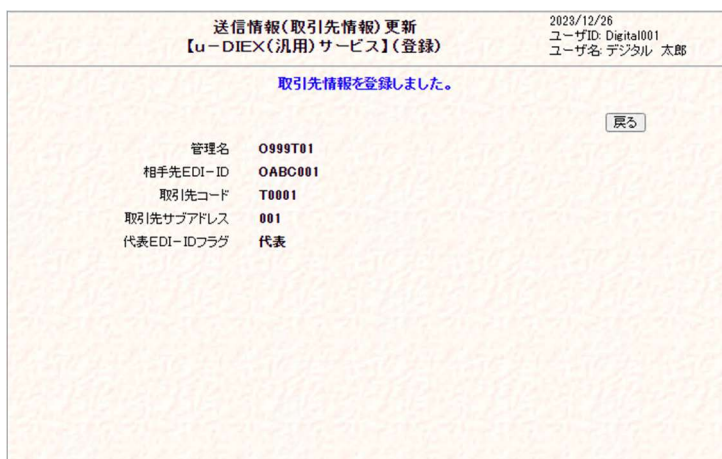


- ① 登録する内容が正しいことを確認します。
- ② [実行]ボタンをクリックします。  
入力した送信情報(取引先情報) (①)を登録します。  
\*[戻る]ボタンをクリックすると、登録内容を破棄し、この画面を終了します。



③ 実行確認のメッセージが表示されます。  
送信情報(取引先情報)の登録実行を確認します。

④ [OK]ボタンをクリックします。  
送信情報(取引先情報)の登録を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。



⑤ 登録の正常終了を確認します。  
送信情報(取引先情報)の登録が正常終了すると、登録完了のメッセージが表示され、登録した内容(b)が表示されます。

⑥ 送信情報(取引先情報)登録画面を終了します。  
\*[戻る]ボタンをクリックし、このウィンドウを閉じます。

(4) 送信情報(取引先)の一覧で登録されたことを確認します。

「4.1.1 送信情報(取引先) 一覧表示」の手順に従い、登録した送信情報(取引先)が表示されることを確認します。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

- 送信確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
  - > 送信情報(取引先)
  - > 送信情報(MSG識別子)
  - > 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

- 送信確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
  - > 送信情報
  - > 受信情報

その他

ファイル送受信情報管理  
 【u-DIEX(汎用)サービス】

2023/12/26  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザ名: デジタル 太郎

< 送信情報(取引先情報) >

管理名: O999T01

相手先EDI-ID:  検索 前方一致検索 詳細 登録 変更 削除

C	EDI-ID	取引先コード	取引先サブアドレス	代表フラグ
<input type="checkbox"/>	O999T02	8489	001	代表
<input type="checkbox"/>	OABC001	T0001	001	代表
<input type="checkbox"/>	OCDE001	T0021	003	代表
<input type="checkbox"/>	OTDC99Z	T0010	001	代表

a (拡大図)

C	EDI-ID	取引先コード	取引先サブアドレス	代表フラグ
<input type="checkbox"/>	O999T02	8489	000	代表
<input type="checkbox"/>	OABC001	T0001	001	代表
<input type="checkbox"/>	OCDE003	T0021	003	代表
<input type="checkbox"/>	OTDC99Z	T0010	001	代表

※画面上濃い黄色となっている行は、変更が受け付けられた内容です。画面上では変更されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時で更新、日時指定反映では指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

#### 4.1.4. 送信情報(取引先) 変更

既存の送信情報(取引先)の登録内容を変更します。

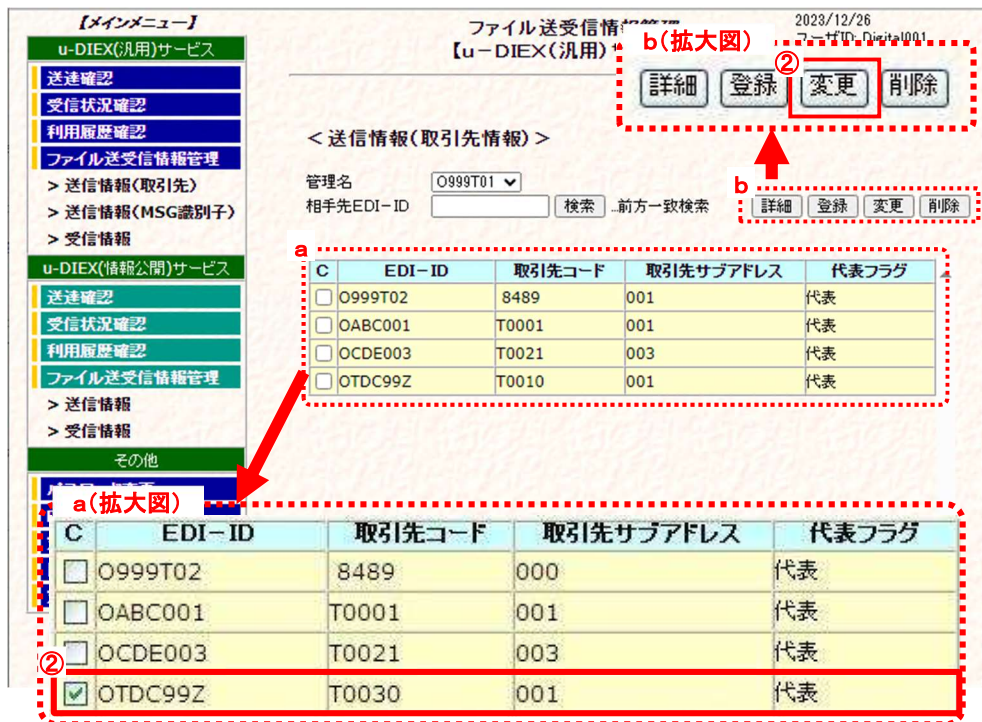
**\*\*\* 注意 \*\*\***

- ☑ 画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時で更新、日時指定反映では指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日反映(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。(反映された時点で、通常の表示色になります。)

<例>以下の内容で既存の送信情報(取引先)を変更します。

- ・ 発信元の EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ 相手先 EDI-ID = [ OTDC99Z ]
- ・ 取引先コード = [ T0030 ] → [ T0010 ]に変更

(1) 送信情報(取引先情報)変更画面を表示します。



- ① 「4.1.1 送信情報(取引先) 一覧表示」の手順に従い、変更対象となる送信情報(取引先)を含む一覧を表示します。
- ② 変更する送信情報(取引先)のチェックボックスをオンにします。
- ③ [変更]ボタンをクリックします。  
 ②で選択した「送信情報(取引先情報)変更」画面が別ウィンドウで表示されます。



(2) 変更内容を入力します。

「送信情報(取引先情報)変更」画面

(3) 送信情報(取引先情報)の変更内容を更新します。

① 変更する送信情報(取引先情報)を確認します。

表示された管理名・相手先 EDI-ID・取引先コード・取引先サブアドレスが変更する対象であることを確認します。

② 「取引先コード」を変更します。  
→ “ T0030 ”を  
“ T0010 ”へ変更

- ◆ 変更可能項目
  - ・ 相手 EDI-ID
  - ・ 取引先サブアドレス
  - ・ 代表 EDI-ID フラグ

※ 「相手先 EDI-ID」は登録可能な取引先として一覧に存在していない場合は、変更できません。

① 変更する内容が正しいことを確認します。

② [実行]ボタンをクリックします。  
変更した送信情報(取引先情報)①を更新します。  
\*[戻る]ボタンをクリックすると、更新内容を破棄し、この画面を終了します。

③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
送信情報(取引先情報)の更新実行を確認します。

④ [OK]ボタンをクリックします。  
送信情報(取引先情報)の更新を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面③を終了します。

送信情報(取引先情報)更新  
【u-DIEX(汎用)サービス】(変更)

2023/12/26  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

⑤ 取引先情報を更新しました。

⑥ 戻る

b

管理名	O999T01
相手先EDI-ID	<input type="text" value="OTDC99Z"/> 検索
取引先コード	<input type="text" value="T0010"/>
取引先サブアドレス	<input type="text" value="001"/>
代表EDI-IDフラグ	[代表 ▼]

⑤ 更新の正常終了を確認します。  
送信情報(取引先情報)の変更内容の更新が正常終了すると、更新完了のメッセージが表示され、更新した内容(b)が表示されます。

⑥ 送信情報(取引先情報)変更画面を終了します。  
[戻る]ボタンをクリックし、このウィンドウを閉じます。

**(4) 送信情報(取引先)の一覧で変更されたことを確認します。**

「4.1.1 送信情報(取引先) 一覧表示」の手順に従い、更新した送信情報(取引先)が表示されることを確認します。

※画面上濃い黄色となっている行は、変更が受け付けられた内容です。画面上では変更されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時で更新、日時指定反映では指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

#### 4.1.5. 送信情報(取引先) 削除

既存の送信情報(取引先)の登録内容を削除します。

<例>以下の内容の既存送信情報(取引先)を削除します。

- ・ 発信元の EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ 相手先 EDI-ID = [ OCDE003 ]
- ・ 取引先コード = [ T0021 ]

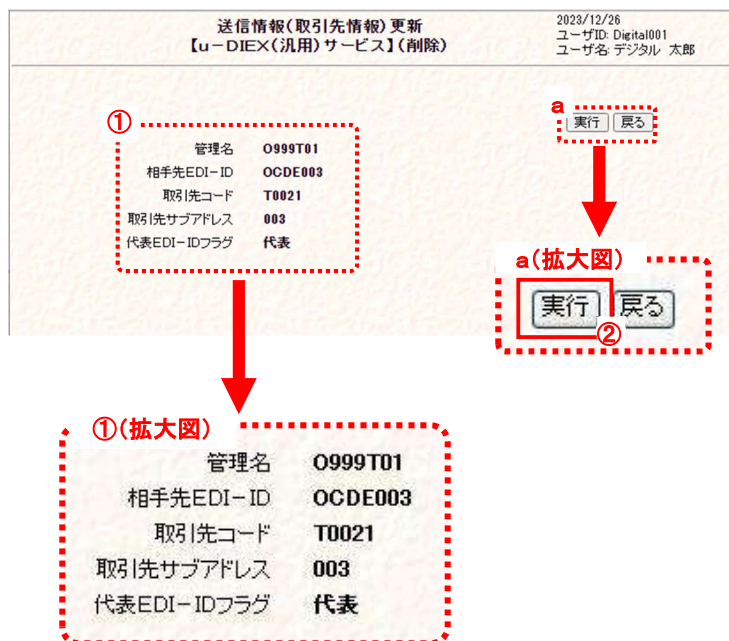
##### (1) 送信情報(取引先情報)削除画面を表示します。

The screenshot shows the '送信情報(取引先情報)削除' screen. The table below is a detailed view of the data shown in the screenshot.

C	EDI-ID	取引先コード	取引先サブアドレス	代表フラグ
<input type="checkbox"/>	O999T02	8489	001	代表
<input type="checkbox"/>	OABC001	T0001	001	代表
<input checked="" type="checkbox"/>	OCDE003	T0021	003	代表
<input type="checkbox"/>	OTDC99Z	T0010	001	代表

- ① 「4.1.1 送信情報(取引先) 一覧表示」の手順に従い、削除対象となる送信情報(取引先)を含む一覧を表示します。
- ② 削除する送信情報(取引先)のチェックボックスをオンにします。
- ③ [削除]ボタンをクリックします。
  - ②で選択した「送信情報(取引先情報)削除」画面が別ウィンドウで表示されます。

(2) 送信情報(取引先情報)の登録内容を削除します。



① 削除する内容が正しいことを確認します。

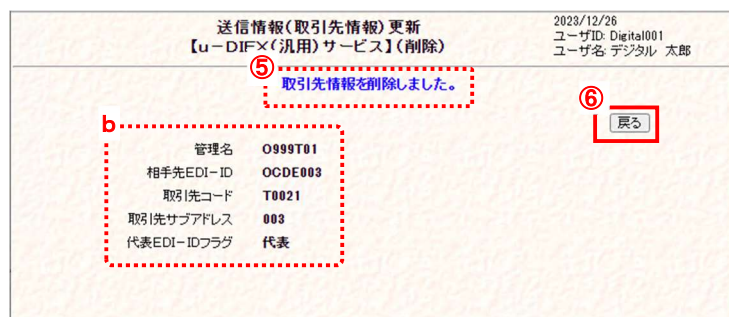
② [実行]ボタンをクリックします。  
表示された送信情報(取引先情報)①を削除します。  
\*[戻る]ボタンをクリックすると、削除処理を破棄し、この画面を終了します。

③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
送信情報(取引先情報)の削除実行を確認します。

「送信情報(取引先情報)削除」画面



④ [OK]ボタンをクリックします。  
送信情報(取引先情報)の削除を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面③を終了します。



⑤ 削除の正常終了を確認します。  
送信情報(取引先情報)の登録内容の削除が正常終了すると、削除完了のメッセージが表示され、削除した内容(b)が表示されます。

⑥ 送信情報(取引先情報)削除画面を終了します。  
[戻る]ボタンをクリックし、このウインドウを閉じます。

(3) 送信情報(取引先情報)の一覧で削除されたことを確認します。

「4.1.1 送信情報(取引先) 一覧表示」の手順に従って再度検索し、削除した送信情報(取引先)が表示されないことを確認します。

※ 削除した情報は、削除した情報は、反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

## 4.2.送信情報(MSG 識別子)

u-DIEX(汎用)サービスで送信するファイルのメッセージ識別子(以後 MSG 識別子)の情報を、「ホスト名」単位で管理します。登録、変更、削除、表示の各操作を行うことができます。

ここでの登録情報が無い MSG 識別子を利用して、ファイルを送信することはできません。

### 4.2.1. 送信情報(MSG 識別子) 一覧表示

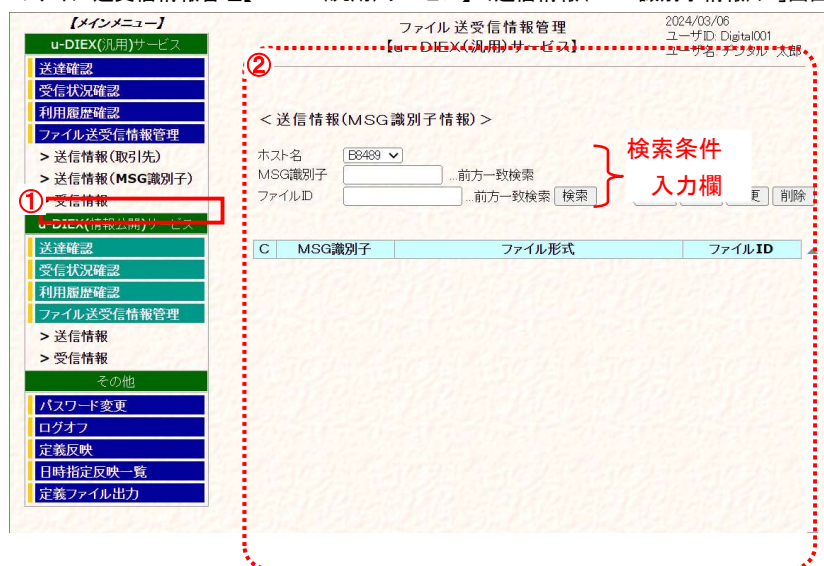
ログインしている管理者によって既に登録されている送信情報(MSG 識別子)について、ホスト名、MSG 識別子などの検索条件を指定し、一致する MSG 識別子情報を検索、一覧で表示します。

<例> 以下の条件に該当する既存の送信情報(MSG 識別子)を一覧表示します。

- ・ 送信に利用するホスト = [ B8489 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDC ]で始まる

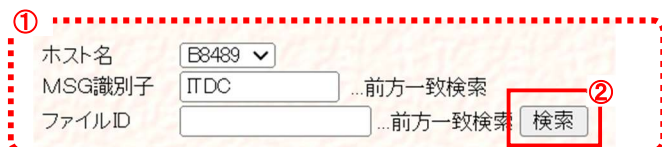
#### (1) 送信情報(MSG 識別子情報)画面を表示します。

「ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】<送信情報(MSG 識別子情報)>」画面



- ① メインメニューの中から、u-DIEX(汎用)サービスの「送信情報(MSG 識別子)」をクリックします。
- ② 画面右側が、「ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】<送信情報(MSG 識別子情報)>」画面へ遷移したことを確認します。

#### (2) 検索条件を入力し、検索します。



##### ① 検索条件を入力します。

(1)-②の検索条件入力欄に検索条件を入力します。

- ・ ホスト名 : 送信に利用するホスト名を選択します。
- ・ MSG 識別子 : MSG 識別子を入力します。(未入力時は全 MSG 識別子が対象)
- ・ ファイル ID : ファイル ID を入力します。(未入力時は全ファイル ID が対象)

##### ② [検索]ボタンをクリックします。

(2)-①で設定した検索条件に該当する送信情報(MSG 識別子)を検索します。

(3) 送信情報(MSG 識別子情報)の検索結果を一覧で表示します。

【メインメニュー】  
 u-DIEX(汎用)サービス  
 送達確認  
 受信状況確認  
 利用履歴確認  
 ファイル送受信情報管理  
 > 送信情報(取引先)  
 > 送信情報(MSG識別子)  
 > 受信情報  
 u-DIEX(情報公開)サービス  
 送達確認  
 受信状況確認  
 利用履歴確認  
 ファイル送受信情報管理  
 > 送信情報  
 > 受信情報  
 その他  
 パスワード変更  
 ログオフ  
 定義反映  
 日時指定反映一覧  
 定義ファイル出力

ファイル送受信情報管理  
 【u-DIEX(汎用)サービス】  
 2024/03/06  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザ名: デジタル 太郎

< 送信情報(MSG識別子情報) >

ホスト名: E8489  
 MSG識別子: ITDC ...前方一致検索  
 ファイルID: ...前方一致検索 検索 詳細 登録 変更 削除

C	MSG識別子	ファイル形式	ファイルID
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCF01
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	自由形式(送信情報レコード)	ITDCF02
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	TNS標準形式	ITDCH01
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	TNS拡張形式	ITDCK01
<input type="checkbox"/>	ITDCK13	TNS拡張形式	ITDCK13

検索条件に該当する情報が一覧で表示されます。

- ・ C : 詳細確認、変更・削除処理を実行する対象の、送信情報(MSG 識別子)選択時に使用するチェックボックスです。
- ・ MSG 識別子 : MSG 識別子が表示されます。
- ・ ファイル形式 : MSG 識別子のファイル形式が表示されます。  
(ファイル形式についての詳細は、「7.1. 用語説明」をご参照ください。)
- ・ ファイル ID : ファイル ID が表示されます。

## 4.2.2. 送信情報(MSG 識別子) 詳細確認

一覧表示された送信情報(MSG 識別子)の中から、ある1データの詳細情報を確認します。

<例>以下の条件に該当する既存の送信情報(MSG 識別子)の詳細を表示します。

- ・ 送信に利用するホスト名 = [ B8489 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCK01 ]

### (1) 送信情報(MSG 識別子情報)一覧から、詳細確認する対象を選択します。

送信情報(MSG 識別子)の一覧画面。検索条件として「ホスト名: B8489」および「MSG識別子: ITDC」が設定されている。検索結果として、ITDCK01 (TNS拡張形式) が表示されている。この項目のチェックボックスがオンにされている。また、「詳細」ボタンが赤い枠で囲われ、拡大図として別表示されている。

C	MSG識別子	ファイル形式	ファイルID
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCF01
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	自由形式(送信情報レコード)	ITDCF02
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	TNS標準形式	ITDCH01
<input checked="" type="checkbox"/>	ITDCK01	TNS拡張形式	ITDCK01
<input type="checkbox"/>	ITDCK13	TNS拡張形式	ITDCK13

① 詳細確認する対象の送信情報(MSG 識別子)のチェックボックスをオンにします。

② [詳細]ボタンをクリックします。

### (2) 詳細情報を確認します。

送信情報(MSG 識別子情報)更新画面のスクリーンショット。送信情報「ITDCK01」の詳細が確認できる。検索条件「ホスト名: B8489」が適用されている。戻るボタンが赤い枠で囲われ、拡大図として別表示されている。

ホスト名	B8489
MSG識別子	ITDCK01
ファイル形式	TNS拡張形式
ファイルID	ITDCK01
EBCDICセット	
暗号キー	

① 送信情報(MSG 識別子情報)の詳細を確認します。

② [戻る]ボタンをクリックします。  
このウィンドウを閉じます。

### 4.2.3. 送信情報(MSG 識別子) 登録

送信するファイルの MSG 識別子を新規登録します。

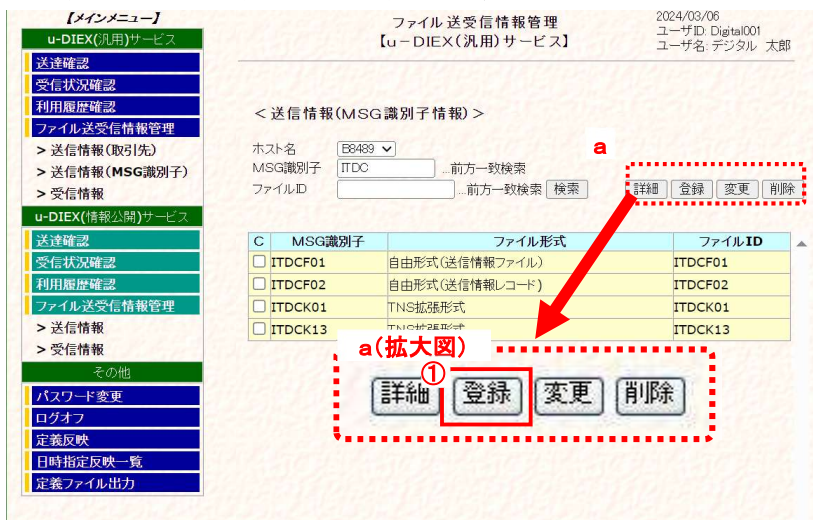
**\*\*\* 注意 \*\*\***

- ☑ 新規登録した送信情報(MSG 識別子)を利用してのファイル送信は、**反映実施日時以降**からとなります。  
 (登録内容がセンタに反映されるのは、反映実施日時以降です。)  
 データ授受開始の**実施日**までに、登録/反映を行ってください。  
 尚、万一の障害発生時には、**反映前の登録情報を復元**させていただきます。  
**お手数ですが、有事の際にはその時点以降に更新された分の再登録**をお願いいたします。
- ☑ 画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時で更新、日時指定反映では指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。  
 (反映された時点で、通常の表示色になります。)

<例> 以下の内容で新規の送信情報(MSG 識別子)を登録します。

- ・ 送信に利用するホスト名 = [ B8489 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCH01 ]
- ・ ファイル形式 = [ TNS 標準形式 ]

(1) 送信情報(MSG 識別子情報)登録画面を表示します。



- ① メインメニューの中から、u-DIEX (汎用)サービスの「送信情報 (MSG 識別子)」をクリックします。
- ② [登録]ボタンをクリックします。「ファイル送受信管理【u-DIEX (汎用)サービス】<送信情報 (MSG 識別子情報)>」画面にある(a) [登録]ボタンをクリックし、「送信情報 (MSG 識別子情報) 登録」画面を別ウィンドウで表示します。  
 (次ページ(2)画面イメージ参照)



(2) 新規登録内容を入力します。

① 「ホスト名」を選択します。  
 → “B8489”を選択

② 「MSG 識別子」を入力します。  
 ファイル送信時に使用する MSG 識別子を入力します。  
 半角英大数字 8 桁以内の任意の文字列を入力します。  
 但し、「UDX」で始まる MSG 識別子は予約語となっているため、設定できません。  
 → “ITDCH01”を入力

a(拡大図)

③ 「ファイル形式」を選択します。  
 送信するファイルのファイル形式を選択します。  
 → “TNS 標準形式”を選択

④ 「ファイル ID」を入力します。お客様の HULFT の配信ファイル ID を入力します。  
 → “空欄”を入力

⑤ 「EBCDIC セット」を選択します。EBCDIC 系の文字コードのお客様で、テキスト転送(集信側変換)を行う場合のみ選択して下さい。  
 → “空欄”を選択

⑥ 「暗号キー」を入力します。通信データを暗号化する場合に入力します。  
 → “空欄”を入力

◆ 項目説明

- ・ ホスト名 : ホスト名を選択します。
- ・ MSG 識別子 : 送信する MSG 識別子(8 桁以内)を入力します。(入力必須)
- ・ ファイル形式 : 「自由形式(送信情報ファイル)」「自由形式(送信情報レコード)」「自由形式(HULFT 標準)」「TNS 標準形式」「TNS 標準形式(送信情報ファイル)」「TNS 拡張形式」「TNS 拡張形式(送信情報ファイル)」から選択します。  
(ファイル形式についての詳細は、「7.1. 用語説明」をご参照ください。)
- ・ ファイル ID : お客様の HULFT の配信ファイル ID を入力します。(空欄または 50 文字の英数字)  
入力を省略した場合は MSG 識別子が反映されます。
- ・ EBCDIC セット : 「自動」「カナ文字」「英小文字」「ASCII」「ASPEN」「IBM 英小文字」「IBM 英小文字拡張」「NEC カナ文字」「IBM カナ文字拡張」「IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)」から選択します。  
EBCDIC 系コードセットのお客様のデータ送信で、テキスト転送、集信側変換を設定した場合に、1 バイトコード変換(EBCDIC⇒ASCII)で使用するコードセットです。
- ・ 暗号キー : 通信データを暗号化する場合に入力します。(空欄または 8~20 文字の英数字)

(3) 送信情報(MSG 識別子情報)を登録します。

送信情報(MSG 識別子情報)更新  
【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)

2024/03/06  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

①

ホスト名 E8489  
MSG識別子 ITDCH01

自由形式(送信情報ファイル)  
自由形式(送信情報しコード) コード ASCII レコード長  
自由形式(HULFT標準) 送信元EDI-ID 相手先EDI-ID  
ファイル形式  
 TNS標準形式  
 TNS標準形式(送信情報ファイル)  
 TNS拡張形式  
 TNS拡張形式(送信情報ファイル)

ファイルID ※省略した場合、MSG識別子が設定されます。

EBCDICセット ※基本は選択不要。EBCDIC文字コードを使用し、テキスト転送(集信側変換)の際のみ利用される項目。  
暗号キー ※英数字のみ

a(拡大図)

実行 戻る

2

① 登録する内容が正しいことを確認します。

② [実行]ボタンをクリックします。  
入力した送信情報(MSG 識別子情報) (①)を登録します。  
\*[戻る]ボタンをクリックすると、登録内容を破棄し、この画面を終了します。

③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
送信情報(MSG 識別子情報)の登録実行を確認します。

③

p-exftp.u-diex.jp の内容  
MSG 識別子情報を登録します。よろしいですか?

OK キャンセル

↑ ④

④ [OK]ボタンをクリックします。  
送信情報(MSG 識別子情報)の登録を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。

送信情報(MSG 識別子情報)更新  
【u-DIEX(汎用)サービス】(登録)

2024/03/06  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

⑤

MSG 識別子情報を登録しました。

b

ホスト名 E8489  
MSG識別子 ITDCH01  
ファイル形式 TNS標準形式  
ファイルID ITDCH01  
EBCDICセット  
暗号キー

⑥

戻る

⑤ 登録の正常終了を確認します。  
送信情報(MSG 識別子情報)の登録が正常終了すると、登録完了のメッセージが表示され、登録した内容(b)が表示されます。

⑥ 送信情報(MSG 識別子情報)登録画面を終了します。  
\*[戻る]ボタンをクリックし、このウィンドウを閉じます。

(4) 送信情報(MSG 識別子)の一覧で登録されたことを確認します。

「4.2.1 送信情報(MSG 識別子) 一覧表示」の手順に従い、登録した送信情報(MSG 識別子)が表示されることを確認します。

【メインメニュー】

u-DIEX(汎用)サービス

- 送信確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
  - > 送信情報(取引先)
  - > 送信情報(MSG識別子)
  - > 受信情報

u-DIEX(情報公開)サービス

- 送信確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
  - > 送信情報
  - > 受信情報

その他

2024/03/06  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザー名: デジタル 太郎

ファイル送受信情報管理  
 【u-DIEX(汎用)サービス】

< 送信情報(MSG識別子情報) >

ホスト名: E8489

MSG識別子: ITDC ...前方一致検索

ファイルID: ...前方一致検索

検索 詳細 登録 変更 削除

C	MSG識別子	ファイル形式	ファイルID
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCF01
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	自由形式(送信情報レコード)	ITDCF02
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	TNS標準形式	ITDCH01
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	TNS拡張形式	ITDCK01
<input type="checkbox"/>	ITDCK13	TNS拡張形式	ITDCK13

a(拡大図)

C	MSG識別子	ファイル形式	ファイルID
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCF01
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	自由形式(送信情報レコード)	ITDCF02
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	TNS標準形式	ITDCH01
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	TNS拡張形式	ITDCK01
<input type="checkbox"/>	ITDCK13	TNS拡張形式	ITDCK13

※画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。



(2) 変更内容を入力します。

送信情報(MSG識別子情報)更新  
 【u-DIEX(汎用)サービス】(変更)

2024/03/06  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザ名: デジタル 太郎

実行 戻る

①

ホスト名 E8489  
 MSG識別子 ITDCK01

自由形式(送信情報ファイル)  
 自由形式(送信情報レコード) コード ASCII レコード長  
 自由形式(HULFT標準) 送信元EDI-ID 相手先EDI-ID

ファイル形式  
 TNS標準形式  
 TNS標準形式(送信情報ファイル)  
 TNS拡張形式  
 TNS拡張形式(送信情報ファイル)

ファイルID ITDCK01 ※省略した場合、MSG識別子が設定されます。

EBCDICセット ※基本は選択不要。EBCDIC系の文字コードを使用し、テキスト転送(集信例変換)の場合のみ利用される項目。  
 暗号キー ※英数字、0～20文字

① 変更する送信情報(MSG 識別子情報)を確認します。  
 表示されたホスト名・MSG 識別子が変更する対象であることを確認します。

② ファイル形式を変更します。  
 変更するファイル形式のラジオボタンをクリックします。  
 → “自由形式” を選択

- ◆ 変更可能項目
  - ・ ファイル形式
  - ・ コード(ASCII⇄EBCDIC)
  - ・ レコード長
  - ・ 送信元 EDI-ID
  - ・ 相手先 EDI-ID
  - ・ ファイル ID
  - ・ EBCDIC セット
  - ・ 暗号キー

①(拡大図)

ホスト名 E8489  
 MSG識別子 ITDCK01

自由形式(送信情報ファイル)  
 自由形式(送信情報レコード) コード ASCII  
 自由形式(HULFT標準) 送信元EDI-ID

ファイル形式  
 TNS標準形式  
 TNS標準形式(送信情報ファイル)  
 TNS拡張形式  
 TNS拡張形式(送信情報ファイル)

②

「送信情報(MSG 識別子情報)変更」画面

(3) 送信情報(MSG 識別子情報)の変更内容を更新します。

送信情報(MSG識別子情報)更新  
 【u-DIEX(汎用)サービス】

2024/03/06  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザ名: デジタル 太郎

実行 戻る

①

ホスト名 E8489  
 MSG識別子 ITDCK01

自由形式(送信情報ファイル)  
 自由形式(送信情報レコード) コード ASCII レコード長  
 自由形式(HULFT標準) 送信元EDI-ID 相手先EDI-ID

ファイル形式  
 TNS標準形式  
 TNS標準形式(送信情報ファイル)  
 TNS拡張形式  
 TNS拡張形式(送信情報ファイル)

ファイルID ITDCK01 ※省略した場合、MSG識別子が設定されます。

EBCDICセット ※基本は選択不要。EBCDIC系の文字コードを使用し、テキスト転送(集信例変換)の場合のみ利用される項目。  
 暗号キー ※英数字、0～20文字

a(拡大図)

① 変更する内容が正しいことを確認します。

② [実行]ボタンをクリックします。  
 変更した送信情報(MSG 識別子情報) (①)を更新します。  
 \* [戻る]ボタンをクリックすると、更新内容を破棄し、この画面を終了します。

③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
 送信情報(MSG 識別子情報)の更新実行を確認します。

③

p-exftp.u-diex.jp の内容  
 MSG 識別子情報を更新します。よろしいですか?

OK キャンセル

④

④ [OK]ボタンをクリックします。  
 送信情報(MSG 識別子情報)の更新を実行します。  
 \* [キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。

⑤ 更新の正常終了を確認します。  
送信情報(MSG 識別子情報)の変更内容の更新が正常終了すると、更新完了のメッセージが表示され、更新した内容(b)が表示されます。

⑥ 送信情報(MSG 識別子情報)変更画面を終了します。  
[戻る]ボタンをクリックし、このウインドウを閉じます。

**(4) 送信情報(MSG 識別子)の一覧で変更されたことを確認します。**

「4.2.1 送信情報(MSG 識別子) 一覧表示」の手順に従い、更新した送信情報(MSG 識別子)が表示されることを確認します。

※画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

#### 4.2.5. 送信情報(MSG 識別子) 削除

既存の送信情報(MSG 識別子)の登録内容を削除します。

<例> 以下の内容の既存送信情報(MSG 識別子)を削除します。

- ・ 送信に利用するホスト名 = [ B8489 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCK01 ]
- ・ ファイル形式 = [ 自由形式(送信情報ファイル) ]

(1) 送信情報(MSG 識別子情報)削除画面を表示します。

2024/03/06

ファイル送受 | u-DIEX(汎用)サービス

【メインメニュー】

- u-DIEX(汎用)サービス
- 送信確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
- > 送信情報(取引先)
- > 送信情報(MSG識別子)
- > 受信情報
- u-DIEX(情報公開)サービス
- 送信確認
- 受信状況確認
- 利用履歴確認
- ファイル送受信情報管理
- > 送信情報
- > 受信情報
- その他
- パスワード変更
- 設定
- 日時
- 定義

ファイル送受 | u-DIEX(汎用)サービス

2024/03/06

詳細 登録 変更 削除

<送信情報(MSG識別子情報)>

ホスト名 [ B8489 ]

MSG識別子 [ ] ...前方一致検索

ファイルID [ ] ...前方一致検索 検索

詳細 登録 変更 削除

C	MSG識別子	ファイル形式	ファイルID
<input type="checkbox"/>	FILEID8	自由形式(HULFT標準)	FILEID8
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCF01
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	TNS標準形式	ITDCH01
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCK01
<input type="checkbox"/>	ITDCK13	TNS拡張形式	ITDCK13

a(拡大図)

C	MSG識別子	ファイル形式	ファイルID
<input type="checkbox"/>	FILEID8	自由形式(HULFT標準)	FILEID8
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCF01
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	TNS標準形式	ITDCH01
<input checked="" type="checkbox"/>	ITDCK01	自由形式(送信情報ファイル)	ITDCK01

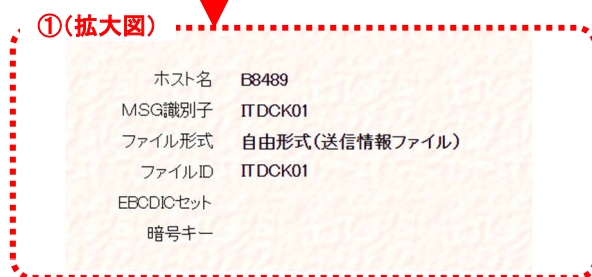
①

b(拡大図)

- ① 「4.2.1 送信情報(MSG 識別子) 一覧表示」の手順に従い、削除対象となる送信情報(MSG 識別子)を含む一覧を表示します。
- ② 削除する送信情報(MSG 識別子)のチェックボックスをオンにします。
- ③ [削除]ボタンをクリックします。  
②で選択した「送信情報(MSG 識別子情報)削除」画面が別ウィンドウで表示されます。



## (2) 送信情報(MSG 識別子情報)の登録内容を削除します。



「送信情報(MSG 識別子情報)削除」画面



- ① 削除する内容が正しいことを確認します。
- ② [実行]ボタンをクリックします。  
表示された送信情報(MSG 識別子情報)(①)を削除します。  
\*[戻る]ボタンをクリックすると、削除処理を破棄し、この画面を終了します。
- ③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
送信情報(MSG 識別子情報)の削除実行を確認します。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。  
送信情報(MSG 識別子情報)の削除を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。
- ⑤ 削除の正常終了を確認します。  
送信情報(MSG 識別子情報)の登録内容の削除が正常終了すると、削除完了のメッセージが表示され、削除した内容(b)が表示されます。
- ⑥ 送信情報(MSG 識別子情報)削除画面を終了します。  
[戻る]ボタンをクリックし、このウィンドウを閉じます。

## (3) 送信情報(MSG 識別子情報)の一覧で削除されたことを確認します。

「4.2.1 送信情報(MSG 識別子) 一覧表示」の手順に従って再度検索し、削除した送信情報(MSG 識別子)が表示されないことを確認します。

※ 削除した情報は、削除した情報は、反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

## 4.3.受信情報

u-DIEX(汎用)サービスで受信するファイルのメッセージ識別子(以後 MSG 識別子)の情報を、「管理名」単位で管理します。登録、変更、削除、表示の各操作を行うことができます。

ここでの登録情報が無い MSG 識別子を利用して、ファイルを受信することはできません。

### 4.3.1. 受信情報 一覧表示

ログインしている管理者によって既に登録されている受信情報について、管理名、MSG 識別子などの検索条件を指定し、一致する受信情報を検索、一覧で表示します。

<例>以下の条件に該当する既存の受信情報を一覧表示します。

- ・ 受信する EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDC ]で始まる

#### (1) 受信情報画面を表示します。

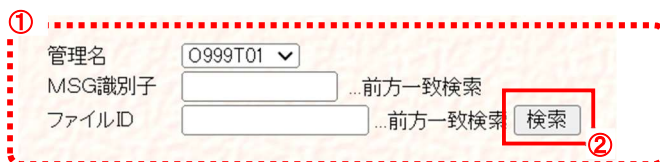
「ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】<受信情報>」画面



① メインメニューの中から、u-DIEX(汎用)サービスの「受信情報」をクリックします。

② 画面右側が、「ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)サービス】<受信情報>」画面へ遷移したことを確認します。

#### (2) 検索条件を入力し、検索します。



##### ① 検索条件を入力します。

(1)-②の検索条件入力欄に検索条件を入力します。

- ・ 管理名 : 受信する EDI-ID となる管理名を選択します。
- ・ MSG 識別子 : MSG 識別子を入力します。(未入力時は全 MSG 識別子が対象)
- ・ ファイル ID : ファイル ID を入力します。(未入力時は全ファイル ID が対象)

##### ② [検索]ボタンをクリックします。

(2)-①で設定した検索条件に該当する受信情報を検索します。

(3) 受信情報の検索結果を一覧で表示します。

The screenshot shows the 'File Transfer Information Management' interface for u-DIEX (General Service). The page title is 'ファイル送受信情報管理 【u-DIEX(汎用)サービス】'. The user is logged in as 'デジタル 太郎' (Digital Taro) with user ID 'Digital001' on 2024/03/06. The main content area is titled '< 受信情報 >' (Received Information). It features search filters for '管理名' (Management Name) set to '0999T01', 'MSG識別子' (MSG Identifier), and 'ファイルID' (File ID), each with a search button. A table below displays the search results, with a red dashed box highlighting the table area and a red circle with the number '1' next to the search filters. The table has columns for 'MSG識別子', 'ファイルID', '転送単位' (Transfer Unit), and 'ファイル形式' (File Format). The data rows are as follows:

MSG識別子	ファイルID	転送単位	ファイル形式
<input type="checkbox"/> ITDCF01	ITDCF01	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/> ITDCF02	ITDCF02	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/> ITDCH01	ITDCH01	個別	TNS標準形式
<input type="checkbox"/> ITDCK01	ITDCK01	個別	TNS拡張形式

検索条件に該当する情報が一覧で表示されます。

- ・ C : 詳細確認、変更・削除処理を実行する対象の、受信情報選択時に使用するチェックボックスです。
- ・ MSG 識別子 : MSG 識別子が表示されます。
- ・ ファイル ID : ファイル ID が表示されます。
- ・ 転送単位 : 同一種別ファイルの受信単位が表示されます。
- ・ ファイル形式 : MSG 識別子のファイル形式が表示されます。  
(ファイル形式についての詳細は、「7.1. 用語説明」をご参照ください。)

### 4.3.2. 受信情報 詳細確認

一覧表示された受信情報の中から、ある1データの詳細情報を確認します。

<例>以下の条件に該当する既存の受信情報の詳細情報を表示します。

- ・ 受信する EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCF01 ]

(1) 受信情報一覧から、詳細確認する対象を選択します。

The screenshot shows the main menu on the left and the '受信情報' (Received Information) section on the right. The '受信情報' section has a search area with '管理名' (O999T01) and 'MSG識別子' (ITDCF01) entered. Below the search area is a table of received information. The table has columns for 'MSG識別子', 'ファイルID', '転送単位', and '形式'. The first row, 'ITDCF01', is selected with a checked checkbox. A red dashed box labeled 'a(拡大図)' highlights this row. Another red dashed box labeled 'b(拡大図)' highlights the '詳細' (Details) button at the top right of the interface.

MSG識別子	ファイルID	転送単位	形式
<input checked="" type="checkbox"/> ITDCF01	ITDCF01	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/> ITDCF02	ITDCF02	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/> ITDCH01	ITDCH01	個別	TNS標準形式
<input type="checkbox"/> ITDCK01	ITDCK01	個別	TNS拡張形式

① 詳細確認する対象の受信情報のチェックボックスをオンにします。

② [詳細]ボタンをクリックします。

(2) 詳細情報を確認します。

The screenshot shows the '受信情報更新' (Update Received Information) dialog box. The dialog has a title bar with '受信情報更新' and '【u-DIEX(汎用)サービス】(詳細)'. The main area displays the details of the selected message: '管理名: O999T01', 'MSG識別子: ITDCF01', 'ファイル形式: 自由形式(受信情報ファイル)', '転送単位: 個別 受信異常時 受信継続なし', 'ファイルID: ITDCF01', '転送タイプ: BINARY', 'コード変換: 集信側', 'EBCDICセット: 自動', 'シフトコードの扱い: 付加しない', and '暗号キー'. A red dashed box labeled '1' highlights these details. Another red dashed box labeled '2' highlights the '戻る' (Back) button at the top right of the dialog.

① 受信情報の詳細を確認します。

② [戻る]ボタンをクリックします。  
このウィンドウを閉じます。

### 4.3.3. 受信情報 登録

受信するファイルのMSG 識別子を新規登録します。

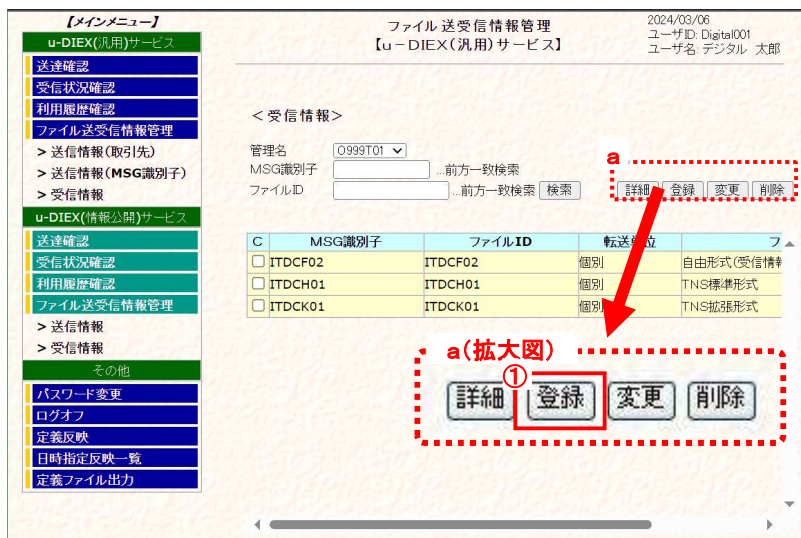
#### \*\*\* 注意 \*\*\*

- ☑ 新規登録した受信情報を利用してのファイル受信は、**反映実施日以降**からとなります。  
(登録内容がセンタに反映されるのは、反映実施日以降です。)
  - データ授受開始希望日の**実施日**までに、登録／反映を行ってください。
  - 尚、万一の障害発生時には、反映前の登録情報を復元させていただきます。**
  - お手数ですが、有事の際にはその時点以降に更新された分の再登録をお願いいたします。**
- ☑ 1つの EDI-ID を複数の管理名で管理している場合、登録はメイン管理名※<sup>12</sup>に対して実施してください。このとき、サブ管理名で検索しても一覧には表示されませんが、メイン管理名で登録してあれば受信が可能です。
- ☑ 画面上濃い黄色となっている行は、変更が受け付けられた内容です。画面上では変更されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。(反映された時点で、通常の表示色になります。)

<例> 以下の内容で新規の受信情報を登録します。

- ・ 受信する EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCF01 ]
- ・ ファイル形式 = [ 自由形式(受信情報ファイル) ]
- ・ 転送単位 = [ 個別(受信継続なし) ]
- ・ 転送タイプ = [ BINARY ]
- ・ 暗号キー = 空欄

#### (1) 受信情報登録画面を表示します。



- ① メインメニューの中から、u-DIEX (汎用)サービスの「受信情報」をクリックします。
- ② 「登録」ボタンをクリックします。「ファイル送受信管理【u-DIEX (汎用)サービス】<受信情報>」画面にある(a)「登録」ボタンをクリックし、「受信情報登録」画面を別ウィンドウで表示します。(次ページ(2)画面イメージ参照)

※<sup>12</sup> 1つの EDI-ID で複数の異なる取引先コードを利用してデータ授受を行う場合や、1つの EDI-ID を本番用とバックアップ用などに分けて複数の環境を登録する場合に、それぞれを区別するために付与する名称です。

「メイン管理名」 : 主となる登録情報を管理する「EDI-ID」と同値となる管理名

「サブ管理名」 : 上記以外の登録情報を管理する「EDI-ID\_ホスト名」または「EDI-ID\_取引先コード」となる管理名

(2) 新規登録の内容を入力します。

① 「管理名」を選択します。  
→ “O999T01”を選択

② 「MSG 識別子」を入力します。  
ファイル受信時に使用するMSG 識別子を入力します。  
半角英大数字 8 桁以内の任意の文字列を入力します。

但し、「UDX」で始まるMSG 識別子は予約語となっているため、設定できません。

→ “ITDCF01”を入力

「受信情報登録」画面

※ 「ファイル形式」で自由形式(受信情報レコード)を選択した場合  
→ 「コード(ASCII・EBCDIC)」を選択します。ASCII 選択時には「改行(LF・CRLF)」を選択し、EBCDIC 選択時には「レコード長」を入力します。

※ 「ファイル形式」で固定長形式を選択した場合  
→ 「固定長レコード長」を入力します。

③ 「ファイル形式」を選択します。受信するファイルのファイル形式を選択します。

→ “自由形式(受信情報ファイル)”を選択

④ 「転送単位」を選択します。受信ファイルが複数の場合の転送単位を選択します。

→ “個別(受信継続なし)”

⑤ 「ファイルID」を入力します  
→ “空欄”を入力

⑥ 「転送タイプ」を選択します。  
→ “BINARY”を選択

⑦ 「暗号キー」を入力します。通信データを暗号化する場合に入力します。  
→ “空欄”を入力

◆ 項目説明

- ・ 管理名 : 受信する EDI-ID となる管理名を選択します。
- ・ MSG 識別子 : 受信する MSG 識別子(8 桁以内)を入力します。**(入力必須)**
- ・ ファイル形式 : 「自由形式(受信情報ファイル)」「自由形式(受信情報レコード)」「自由形式(HULFT 標準)」「TNS 標準形式」「TNS 標準形式(受信情報ファイル)」「TNS 拡張形式」「TNS 拡張形式(受信情報ファイル)」「固定長形式」から選択します。  
(ファイル形式についての詳細は、「7.1. 用語説明」をご参照ください。  
「固定長形式」は、ホスト種が「メインフレーム」または「AS400」の場合のみ指定できます。
- ・ 固定長レコード長 : ファイル形式が「固定長形式」の場合のみ入力します。  
(入力可能範囲 : 30 ~ 999999)
- ・ 転送単位 : 「一括」「個別」から選択し、「個別」の場合は(受信継続なし)(受信継続あり)から更に選択します。  
(転送単位についての詳細は巻末の用語説明(P71)をご参照ください。)
- ・ ファイル ID : お客様の HULFT の集信ファイル ID を入力します。(空欄または 50 文字の英数字)  
入力を省略した場合は MSG 識別子が反映されます。
- ・ 転送タイプ : 「BINARY」「TEXT」から選択します。  
TEXT 転送を使用する場合は、送信側のお客様も TEXT 転送で送信する必要があります。
- ・ コード変換 : 「集信側」「配信側」「無変換」から選択します。  
TEXT 転送の場合に、配信側、集信側どちらでコード変換を行うか、  
またはコード変換を行わないかを指定します。
- ・ EBCDIC セット : 「自動」「カナ文字」「英小文字」「ASCII」「ASPEN」「IBM 英小文字」「IBM 英小文字拡張」「NEC カナ文字」「IBM カナ文字拡張」「IBM カナ文字拡張(カスタマイズ)」から選択します。  
EBCDIC 系コードセットのお客様のデータ受信で、テキスト転送、配信側変換を設定した場合に、1 バイトコード変換(ASCII⇒EBCDIC)で使用するコードセットです。
- ・ シフトコードの扱い : 「付加しない」「付加する」から選択します。  
EBCDIC 系コードセットへのコード変換を行うときのシフトコードの扱いを指定します。
- ・ 暗号キー : 通信データを暗号化する場合に入力します。(空欄または 8~20 文字の英数字)

(3) 受信情報を登録します。

① 登録する内容が正しいことを確認します。

② [実行]ボタンをクリックします。  
入力した受信情報(①)を登録します。  
\*[戻る]ボタンをクリックすると、登録内容を破棄し、この画面を終了します。

③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
受信情報の登録実行を確認します。

④ [OK]ボタンをクリックします。  
受信情報の登録を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。

⑤ 登録の正常終了を確認します。  
受信情報の登録が正常終了すると、登録完了のメッセージが表示され、登録した内容(b)が表示されます。

⑥ 受信情報登録画面を終了します。  
\*[戻る]ボタンをクリックし、このウィンドウを閉じます。



(4) 受信情報の一覧で登録されたことを確認します

「4.3.1 受信情報 一覧表示」の手順に従い、登録した受信情報が表示されることを確認します。

2024/03/06  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザ名: デジタル 太郎

ファイル送受信情報管理  
 【u-DIEX(汎用)サービス】

< 受信情報 >

管理名: O999T01

MSG識別子: ...前方一致検索

ファイルID: ...前方一致検索 検索 詳細 登録 変更 削除

C	MSG識別子	ファイルID	転送単位	フ
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	ITDCF02	個別	自由形式(受信情報)
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	ITDCH01	個別	TNS標準形式
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	ITDCK01	個別	TNS拡張形式

**a(拡大図)**

C	MSG識別子	転送単位	ファイル形式
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	個別	自由形式(受信情報ファイル)
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	個別	自由形式(受信情報レコード)
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	個別	TNS標準形式
<input type="checkbox"/>	ITDCK01	個別	TNS拡張形式

※画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

### 4.3.4. 受信情報 変更

既存の受信情報の登録内容を変更します

**\*\*\* 注意 \*\*\***

- ☑ 画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時で更新、日時指定反映では指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。(反映された時点で、通常の表示色になります。)

<例>以下の内容で既存の受信情報を変更します。

- ・ 受信する EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCK01 ]
- ・ 転送単位 = [ 個別(受信継続なし) ] → [ 一括 ]に変更

(1) 受信情報変更画面を表示します。

The screenshot shows the 'u-DIEX(汎用)サービス' main menu on the left. The main area is titled 'ファイル送受信情報管理【u-DIEX(汎用)】'. At the top right, there are buttons for '詳細', '登録', '変更', and '削除'. A red dashed box labeled 'b(拡大図)' highlights these buttons, with a red arrow pointing to the '変更' button. Below this, there are search fields for '管理名' (set to O999T01), 'MSG識別子', and 'ファイルID'. A second set of buttons '詳細', '登録', '変更', '削除' is also shown. A table lists received information entries:

C	MSG識別子	ファイルID	転送単位	ファイル形式
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	ITDCF01	個別	自由形式(受信情報ファイル)
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	ITDCF02	個別	自由形式(受信情報レコード)
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	ITDCH01	個別	TNS標準形式
<input checked="" type="checkbox"/>	ITDCK01	ITDCK01	個別	TNS拡張形式

A red dashed box labeled 'a(拡大図)' highlights the table, with a red arrow pointing to the 'ITDCK01' row. Below the table, another table shows details for the selected entry:

C	MSG識別子	転送単位	ファイル形式
<input type="checkbox"/>	ITDCF01	個別	自由形式(受信情報ファイル)
<input type="checkbox"/>	ITDCF02	個別	自由形式(受信情報レコード)
<input type="checkbox"/>	ITDCH01	個別	TNS標準形式
<input checked="" type="checkbox"/>	ITDCK01	個別	TNS拡張形式

- ① 「4.3.1 受信情報 一覧表示」の手順に従い、変更対象となる受信情報を含む一覧を表示します。
- ② 変更する受信情報のチェックボックスをオンにします。
- ③ [変更]ボタンをクリックします。  
 ②で選択した「受信情報変更」画面が別ウィンドウで表示されます。

(2) 変更内容を入力します。

① 変更する受信情報を確認します。  
 表示された管理名・MSG 識別子  
 が変更する対象であることを確認  
 します。

② 「転送単位」を変更します。  
 変更する転送単位のラジオボタ  
 ンをクリックします。  
 → “一括”を選択

①(拡大図)

「受信情報変更」画面

◆ 変更可能項目

- ・ ファイル形式
- ・ コード(ASCII⇄EBCDIC)
- ・ レコード長
- ・ 固定長レコード長
- ・ 転送単位
- ・ ファイル ID
- ・ 転送タイプ
- ・ コード変換
- ・ EBCDIC セット
- ・ シフトコードの扱い
- ・ 暗号キー

(3) 受信情報の変更内容を更新します。

受信情報更新  
 【u-DIEX(汎用)サービス】(3)

2024/03/06  
 ユーザID: Digital001  
 ユーザ名: デジタル 太郎

管理名 O999T01  
 MSG識別子 ITDCK01

ファイル形式  
 自由形式(受信情報ファイル)  
 自由形式(受信情報レコード) コード ASCII 改行 LF レコード長  
 自由形式(HULFT標準)  
 TNS標準形式  
 TNS標準形式(受信情報ファイル)  
 TNS拡張形式  
 TNS拡張形式(受信情報ファイル)  
 固定長形式 固定長レコード長

転送単位  
 個別 受信異常時 [受信継続なし]  
 一括

ファイルID ITDCK01 ※省略した場合、MSG識別子が設定されます。

転送タイプ  
 BINARY  TEXT ※基本はBINARYを選択。HULFTでの変換を行いたい場合、TEXTを選択下さい。  
 コード変換 集信側  
 EBCDICセット 自動  
 シフトコードの扱い 付加しない  
 暗号キー ※英数字、8~20文字

1

2

a(拡大図)

実行 戻る

3

p-exftp.u-diex.jp の内容  
 受信情報を更新します。よろしいですか?

OK キャンセル

4

5

受信情報を更新しました。

6

実行 戻る

① 変更する内容が正しいことを確認します。

② [実行]ボタンをクリックします。  
 変更した受信情報(①)を更新します。  
 \*[戻る]ボタンをクリックすると、更新内容を破棄し、この画面を終了します。

③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
 受信情報の更新実行を確認します。

④ [OK]ボタンをクリックします。  
 受信情報の更新を実行します。  
 \*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。

⑤ 更新の正常終了を確認します。  
 受信情報の変更内容の更新が正常終了すると、更新完了のメッセージが表示され、更新した内容(b)が表示されます。

⑥ 受信情報変更画面を終了します。  
 [戻る]ボタンをクリックし、このウインドウを閉じ。

(4) 受信情報の一覧で変更されたことを確認します。

「4.3.1 受信情報 一覧表示」の手順に従い、更新した受信情報が表示されることを確認します。

※画面上濃い黄色となっている行は、登録が受け付けられた内容です。画面上では登録されていますが、センタ上の更新は反映方法により異なります。反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

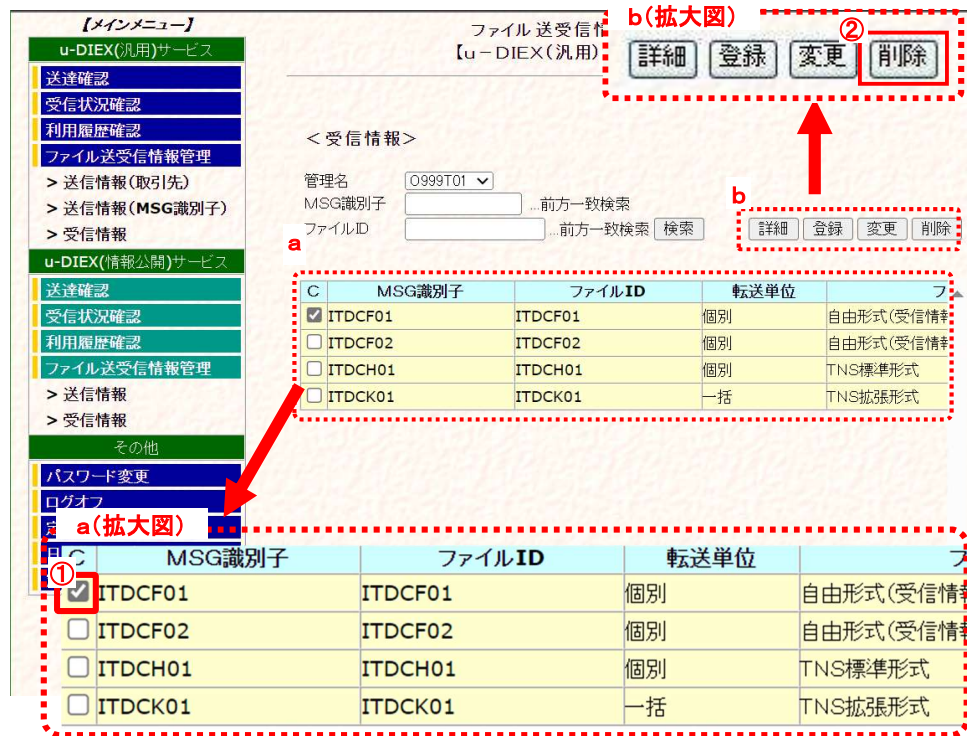
### 4.3.5. 受信情報 削除

既存の受信情報の登録内容を削除します

<例> 以下の内容の既存受信情報を削除します。

- ・ 受信する EDI-ID = [ O999T01 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCF01 ]

(1) 受信情報削除画面を表示します。



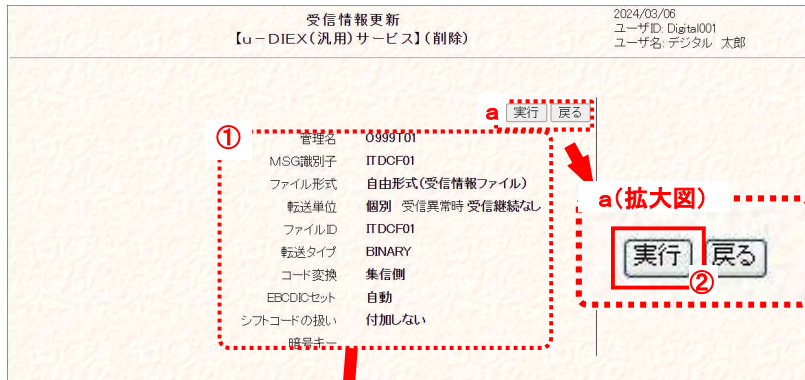
① 「4.3.1 受信情報 一覧表示」の手順に従い、削除対象となる受信情報を含む一覧を表示します。

② 削除する受信情報のチェックボックスをオンにします。

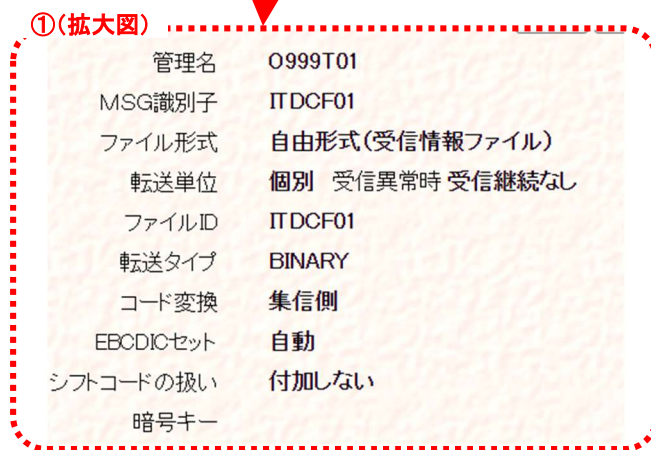
③ [削除]ボタンをクリックします。

②で選択した「受信情報削除」画面が別ウィンドウで表示されます。

(2) 受信情報の登録内容を削除します。



- ① 削除する内容が正しいことを確認します。
- ② [実行]ボタンをクリックします。  
表示された受信情報(①)を削除します。  
\*[戻る]ボタンをクリックすると、削除処理を破棄し、この画面を終了します。

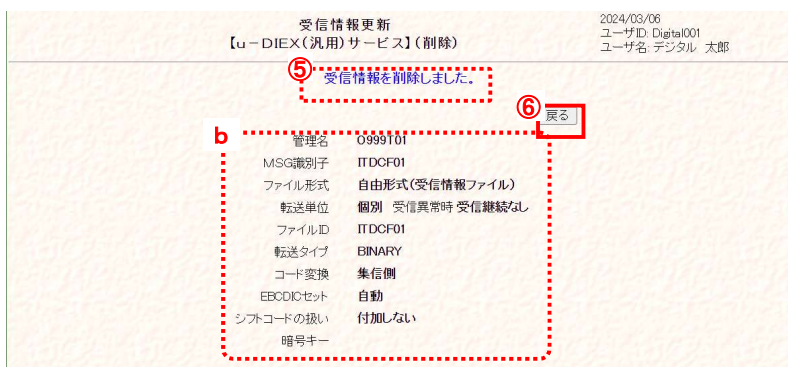


- ③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。  
受信情報の削除実行を確認します。

「受信情報削除」画面



- ④ [OK]ボタンをクリックします。  
受信情報の削除を実行します。  
\*[キャンセル]ボタンをクリックすると、メッセージ画面(③)を終了します。



- ⑤ 削除の正常終了を確認します。  
受信情報の登録内容の削除が正常終了すると、削除完了のメッセージが表示され、削除した内容(b)が表示されます。
- ⑥ 受信情報削除画面を終了します。  
[戻る]ボタンをクリックし、このウインドウを閉じます。

(3) 受信情報の一覧で削除されたことを確認します。

「4.3.1 受信情報 一覧表示」の手順に従って再度検索し、削除した受信情報が表示されないことを確認します。

※ 削除した情報は、反映方法が即時反映では即時更新され、日時指定反映では、指定日時に更新、反映方法を指定しなければ、翌日更新(夜間0時からのセンタ反映作業後)となりますのでご注意ください。

## 5. 操作方法 ～ その他機能 ～

### 5.1. 定義反映

ファイル送受信情報管理機能で設定した送受信情報は、画面上では登録されていますが、センタ上の更新は完了していません。ファイルの送受信を開始するにはセンタの更新が必要となります。

定義反映機能は、画面上で登録された情報をセンタ上に反映する機能です。定義反映機能の利用により、登録実施日の翌日(夜間0時からのセンタ反映作業後)を待たずに送受信情報がセンタ上に反映され、ファイルの送受信が可能となります。

#### 5.1.1. 定義反映 初期画面表示

定義反映画面の初期画面を表示します。

##### (1) 定義反映画面を表示します。

The screenshot shows the 'Definition Reflection' (定義反映) screen. On the left is a main menu with various options. The 'Definition Reflection' (定義反映) option is highlighted with a red circle and a red dashed box. The main content area is also enclosed in a red dashed box. It contains the following settings:

- < 反映種別 >
  - 即時反映
  - 日時指定反映
- 日付 [2024/03/06] 時刻 [1] 時 [00] 分
- ※ 毎週月曜日 0:00から6:00の日時指定反映不可
- < 反映単位 >
  - 全て
  - MSG識別子/データ種別 [ ]
  - ファイルID [ ]

- ① メインメニューの中から、その他の「定義反映」をクリックします。
- ② 画面右側が、「定義反映」画面へ遷移したことを確認します。

「定義反映」画面

#### 5.1.2. 定義反映 即時反映

ファイル送受信情報管理機能で設定した送受信情報を、登録実施日の翌日(夜間0時からのセンタ反映作業後)を待たずセンタ上に反映します。

即時反映では、反映単位として「全て」(画面上で登録したすべての送受信情報)と MSG 識別子/データ種別(画面上で登録した送信、受信毎のデータ種別)またはファイル ID(画面上で登録した送信、受信毎のファイル ID)を選択します。

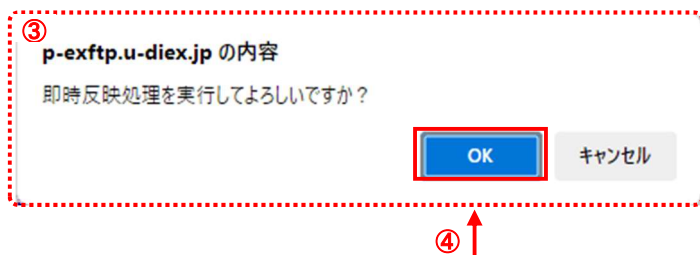
<例> 以下の内容の送受信情報を即時反映します。

- ・ 送信 MSG 識別子 = [ ITDCK13 ]
- ・ 受信 MSG 識別子 = [ ITDCK13 ]

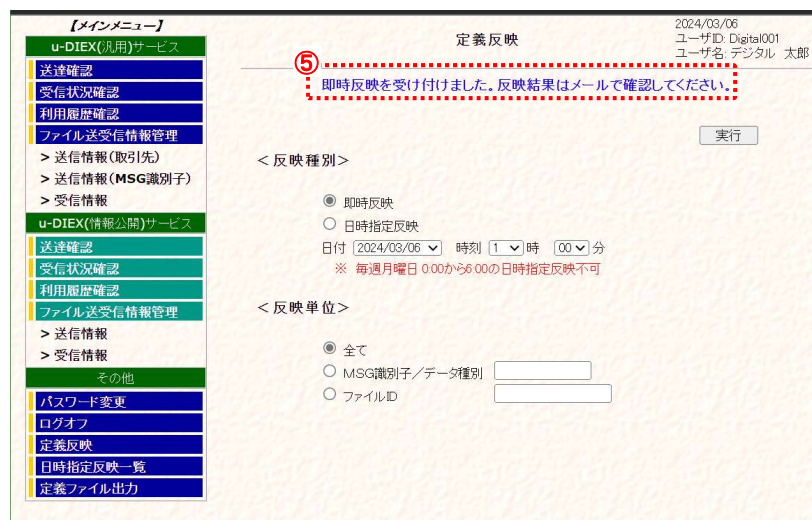
(2) ファイル送受信管理機能で設定した全ての送受信情報をセンタ上に反映します。



- ① <反映種別>即時反映、<反映単位>全てとなっていることを確認します。  
 ※「定義反映」をクリックして表示された状態と同一内容です。
- ② [実行]ボタンをクリックします。



- ③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。



- ⑤ 即時反映処理が実行されると、処理受付のメッセージが表示されます。

※ 定義反映で反映単位が「全て」の反映実行は複数回の指定ができません。再度、定義反映を実施される場合は、即時反映で反映処理が完了した後か、日時指定反映で指定された日時の反映完了後となります。  
 既に反映処理実施済みの場合、「既に反映単位: 全ての日時指定が登録されています。」のメッセージが表示されます。

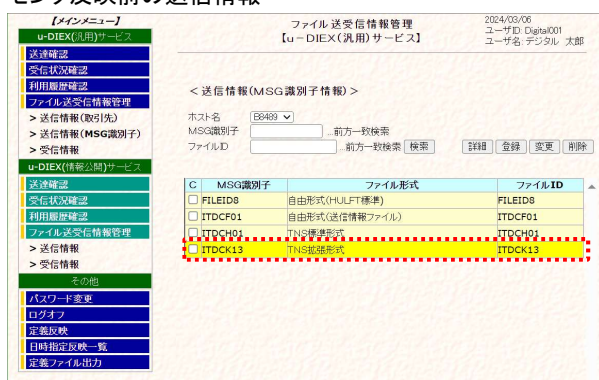


⑥ 反映完了のメールが通知されます。  
※



※「u-DIEX HULFT インターフェース利用申込書」の E-Mail アドレスに記載されたアドレスへのメール通知となります。

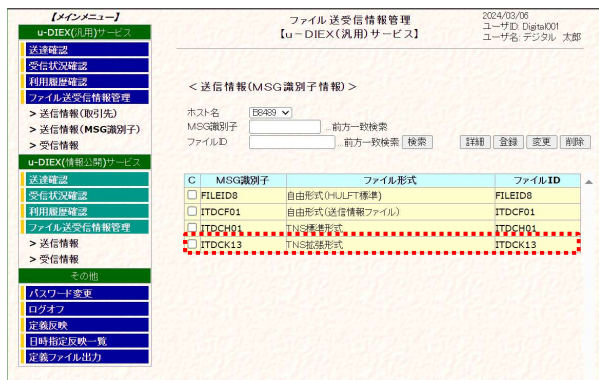
### センタ反映前の送信情報



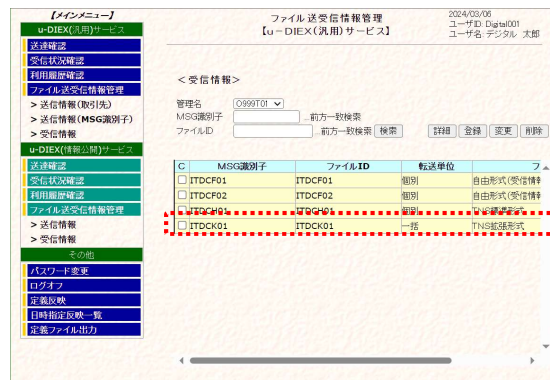
### センタ反映前の受信情報



### センタ反映後の送信情報



### センタ反映後の受信情報



(3) 送受信情報の一覧で反映が完了したことを確認します。

送信情報については、「4.1.1 送信情報(取引先情報) 一覧表示」あるいは、「4.2.1 送信情報(MSG 識別子) 一覧表示」の手順に従って検索し、登録した送信情報の反映が完了していることを確認します。

受信情報については、「4.3.1 受信情報 一覧表示」の手順に従って検索し、登録した受信情報の反映が完了していることを確認します。

※画面上の濃い黄色が薄い黄色となっていれば、センタへの反映は完了しています。(上図のイメージ図を参照)

### 5.1.3. 定義反映 日時指定反映

ファイル送受信情報管理機能で設定した送受信情報を、登録実施日の翌日(夜間0時からのセンタ反映作業後)のセンタ上への反映ではなく、予約した日時でセンタ上に反映します。

日時指定反映には、反映単位として「全て」(画面上で登録したすべての送受信情報)と MSG 識別子/データ種別(画面上で登録した送信、受信毎のデータ種別)またはファイル ID(画面上で登録した送信、受信毎のファイル ID)を選択します。

<例> 以下の内容の送信情報を日時指定反映します。

- ・ MSG 識別子 = [ ITDCK13 ]
- ・ 反映日時 = [ 2024/03/07 1時00分 ]

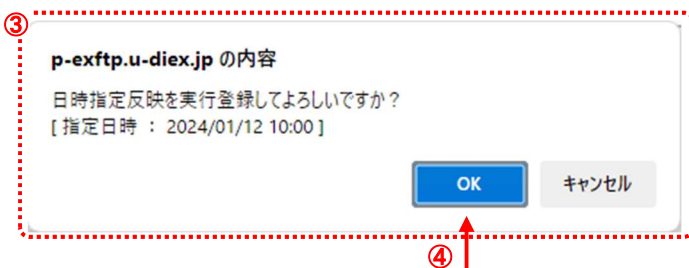
(1) ファイル送受信管理機能で設定した送信情報を日時指定でセンタ上に反映します。



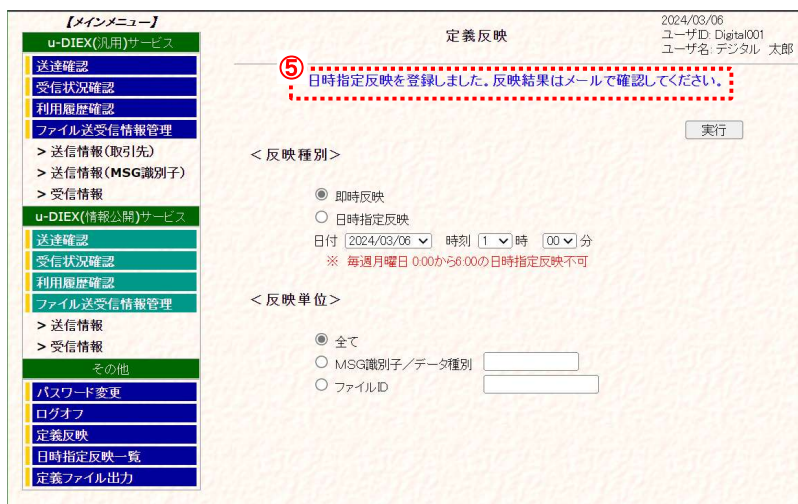
- ① <反映種別>を選択します。  
 反映する種別のラジオボタンをクリックします。  
 → “日時指定反映”を選択  
  
 反映する日時を選択します。  
 → “2024/03/07”を設定  
 → “1”時“00”分を設定

<反映単位>を選択します。  
 反映するMSG識別子を入力します。

- ③ [実行]ボタンをクリックします。



- ③ 実行確認のメッセージ画面が表示されます。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。



- ⑤ 日時指定反映処理が実行されると、処理受付のメッセージが表示されます。

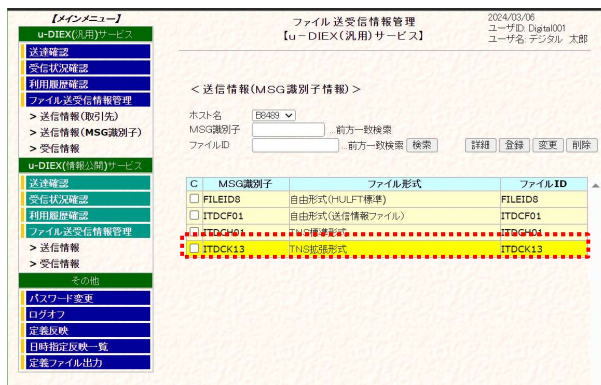
- ※ 定義反映で反映単位が「全て」の反映実行は複数回の指定ができません。再度、定義反映を実施される場合は、即時反映で反映処理が完了した後か、日時指定反映で指定された日時の反映完了後となります。  
既に反映処理実施済みの場合、「既に反映単位: 全ての日時指定が登録されています。」のメッセージが表示されます。



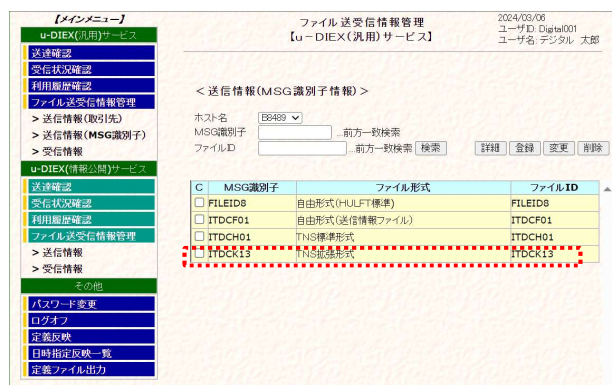
- ⑥ 反映完了のメールが通知されます。\*

※「u-DIEX HULFT インタフェース利用申込書」の E-Mail アドレスに記載されたアドレスへのメール通知となります。

#### センタ反映前の送信情報



#### センタ反映後の送信情報



#### (2) 送信情報の一覧で反映が完了したことを確認します。

「4.1.1 送信情報(取引先情報) 一覧表示」あるいは、「4.2.1 送信情報(MSG 識別子) 一覧表示」の手順に従って検索し、登録した送信情報の反映が完了していることを確認します。

※画面上の濃い黄色が薄い黄色となっていれば、センタへの反映は完了しています。(上図のイメージ図参照)

## 5.2. 日時指定反映一覧

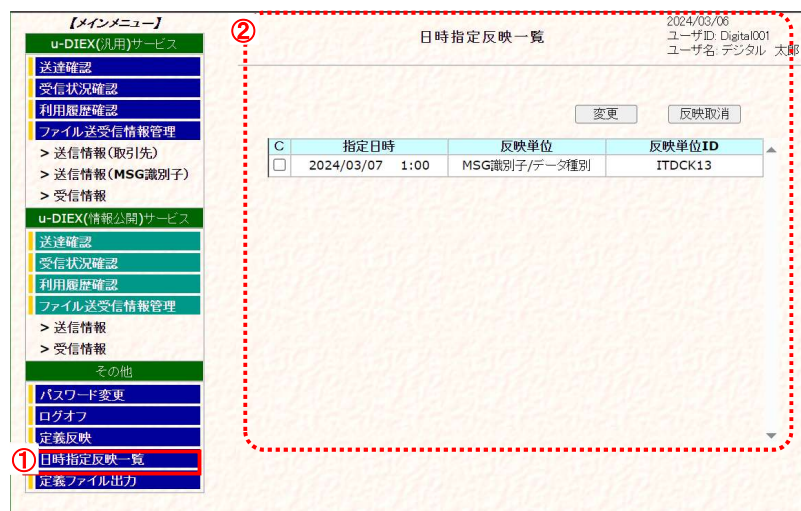
定義反映機能で、日時指定反映を実施した内容が一覧画面に表示されます。

日時指定反映一覧では、日時指定した内容の指定日時を変更したり、日時指定したものの削除を行うことができます。

### 5.2.1. 日時指定反映一覧 初期画面表示

日時指定反映一覧画面の初期画面を表示します。

(1) 日時指定反映の内容がある場合の画面を表示します。

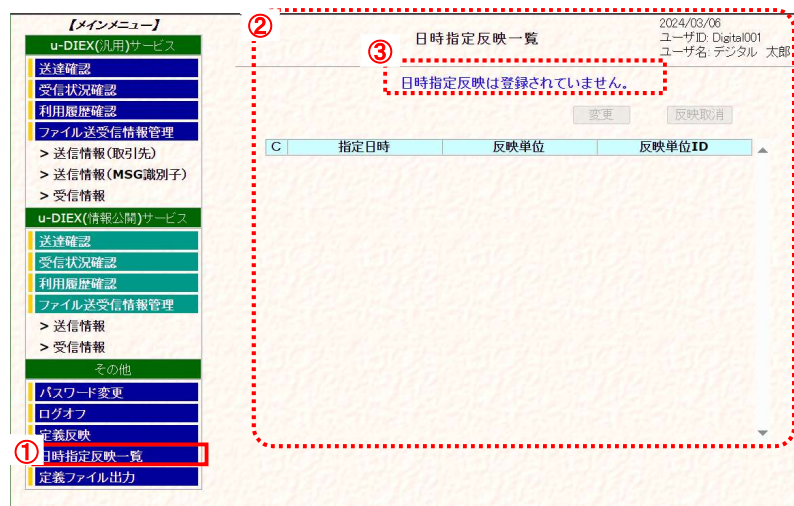


① メインメニューの中から、その他の「日時指定反映一覧」をクリックします。

① 画面右側が、「日時指定反映一覧」画面へ遷移したことを確認します。

「日時指定反映一覧」画面

(2) 日時指定反映の内容がない場合の画面を表示します。



① メインメニューの中から、その他の「日時指定反映一覧」をクリックします。

② 画面右側が、「日時指定反映一覧」画面へ遷移したことを確認します。

③ 日時指定反映の登録がされていないことのメッセージが表示されます。

「日時指定反映一覧」画面

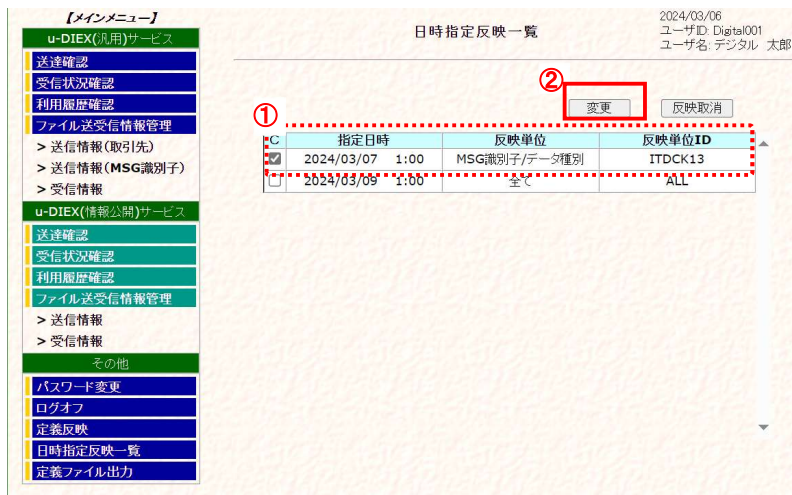
## 5.2.2. 日時指定反映一覧 変更

日時指定反映で設定した反映内容の日時を変更します。

<例>以下の日時指定反映内容を変更します。

- ・ 変更前指定日時 = [ 2024/03/07 1時 00分 ]
- ・ 変更後指定日時 = [ 2024/03/07 2時 10分 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCK13 ]

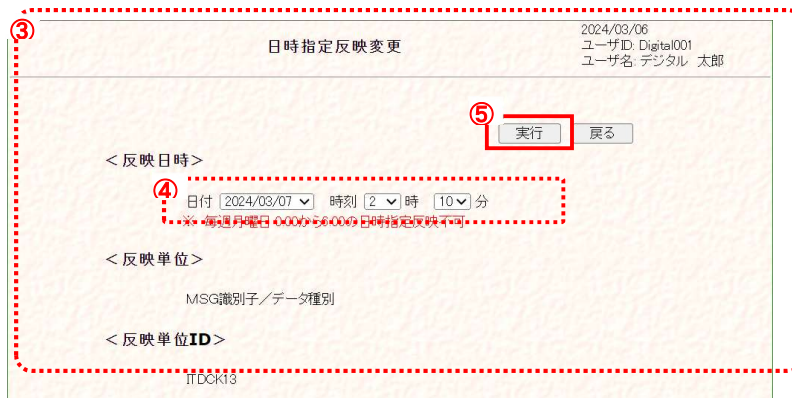
### (1) 指定日時を変更します。



- ① 変更する指定日時内容のチェックボックスをオンにします。

※「定義反映」画面で<反映単位>を[全て]とした場合、日時指定反映一覧の反映単位には、[全て]と表示されます。

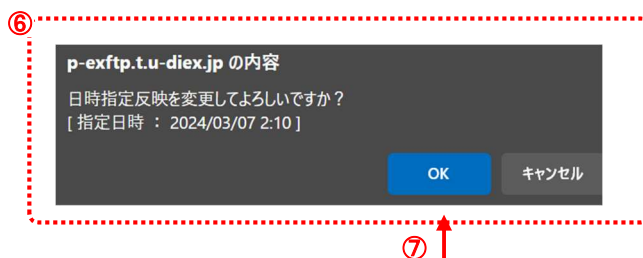
- ② [変更]ボタンをクリックします。



- ③ 日時指定反映変更画面が表示されます。

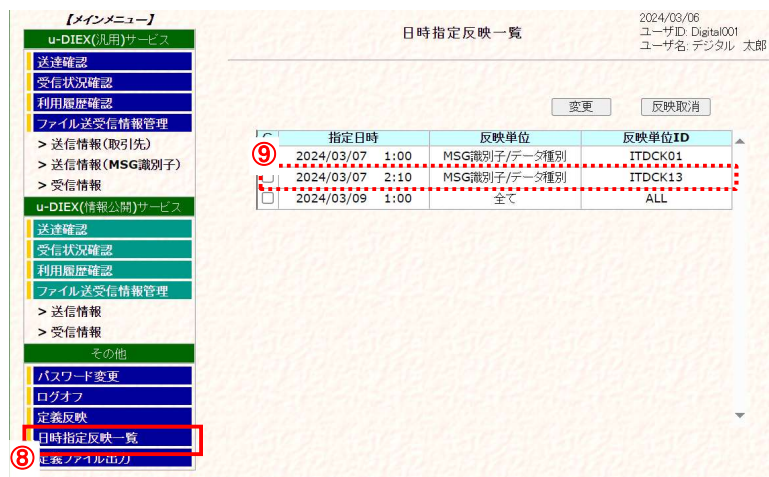
- ④ 変更する日時を設定します。  
→ “ 21 ”時 “ 10 ”分を設定します。

- ④ [実行]ボタンをクリックします。



- ⑥ 変更確認のメッセージ画面が表示されます。

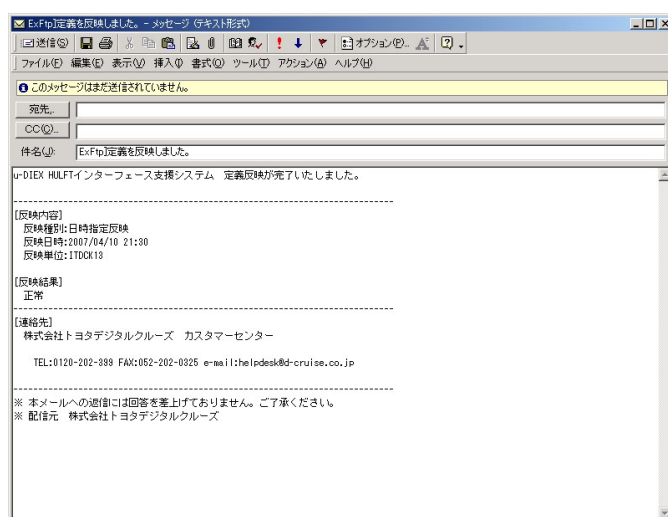
- ⑦ [OK]ボタンをクリックします。



⑧ 日時指定反映一覧をクリックします。

⑨ 変更した指定日時となっていることを確認します。

(2) センタ上に反映された結果を確認します。



① ログインした管理者宛に登録完了のメールが通知されます。※

※「u-DIEX HULFT インターフェース利用申込書」の E-Mail アドレスに記載されたアドレスへのメール通知となります。

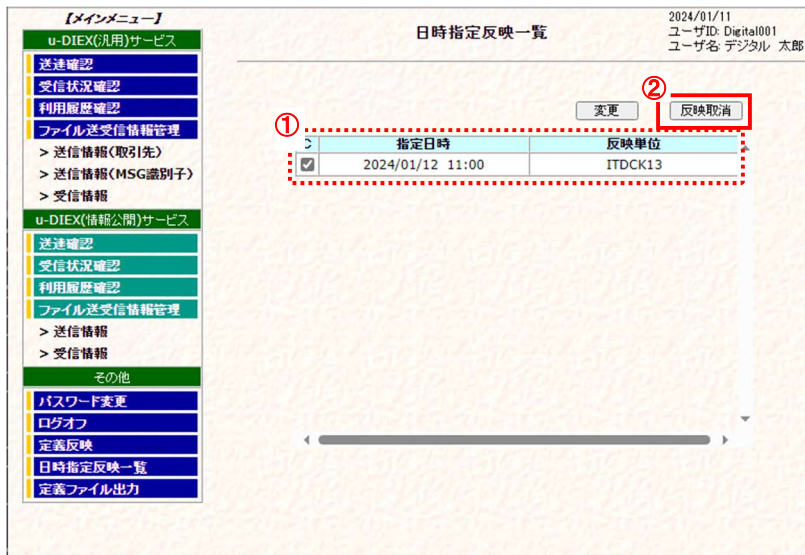
### 5.2.3. 日時指定反映一覧 反映取消

定義反映で日時指定反映実行した反映内容を取消します。

<例>以下の日時指定反映内容を取消します。

- ・ 取消し指定日時 = [ 2024/03/07 11時 00分 ]
- ・ MSG 識別子 = [ ITDCK13 ]

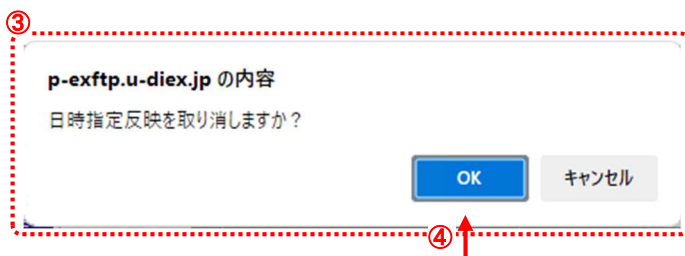
#### (1) 指定日時を取消します。



① 取消する指定日時内容のチェックボックスをオンにします。

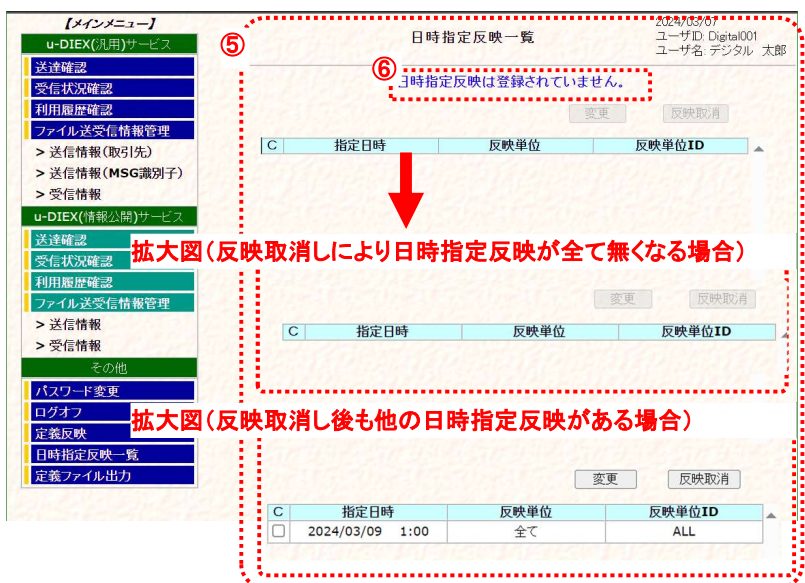
※「定義反映」画面で<反映単位>を[全て]とした場合、日時指定反映一覧の反映単位には、[全て]と表示されます。

② [反映取消]ボタンをクリックします。



③ 取消し確認のメッセージ画面が表示されます。

④ [OK]ボタンをクリックします。



⑤ 反映取消の正常終了を確認します。

反映取消の実行が正常終了すると反映取消完了のメッセージが表示されます。

※日時指定反映した件数により表示されるメッセージが異なります。

## 5.3.定義ファイル出力

ログインしている管理者※10の管理対象ユーザIDのユーザ情報、管理名情報、送受信情報をファイル出力することができます。

### 5.3.1. 定義ファイル出力 ファイル出力

定義ファイル出力画面からファイル名称を選択してファイル出力します。

#### \*\*\* 注意 \*\*\*

- ☑ 1度に複数の情報ファイルの選択はできません。複数の情報ファイルを出力する場合は、1つずつファイル出力を実行してください。

(1) 定義ファイル出力画面を表示します。



- ① メインメニューの中から、その他「定義ファイル出力」をクリックします。
- ② 画面右側が、「定義ファイル出力」画面へ遷移したことを確認します。

「定義ファイル出力」画面

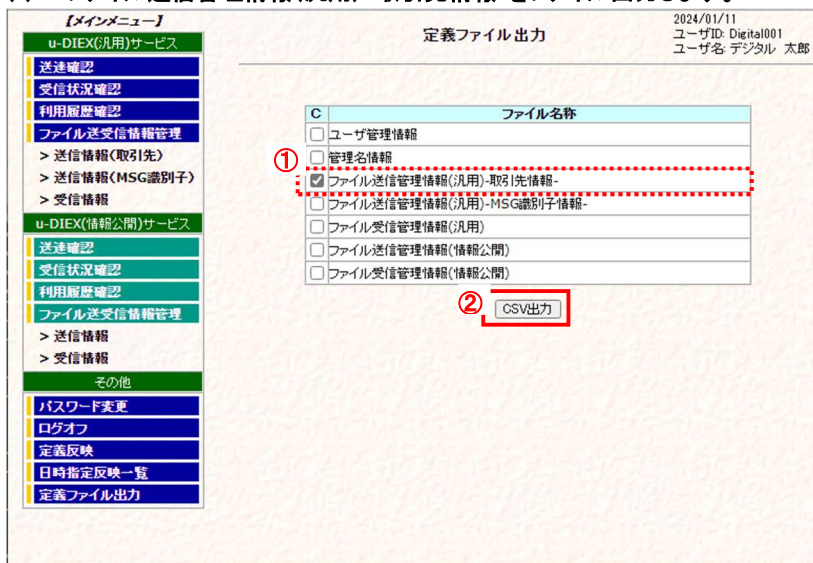
※10 「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」(Web)をご利用いただくために設定いただく管理者IDのお客様管理者です。原則として1社1管理者となります。



<例>以下の定義ファイルをファイル出力します。

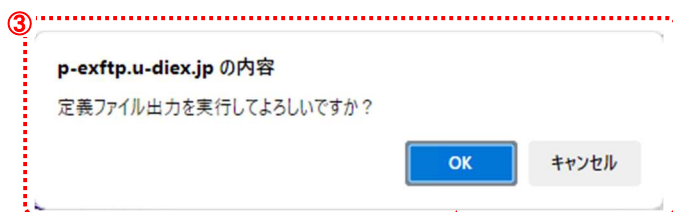
- ・ ファイル名称 = [ ファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報 ]

(2) ファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報-をファイル出力します。



- ① ファイル名称欄のファイル送信管理情報(汎用)-取引先情報-のチェックボックスをオンにします。
- ② [CSV 出力]ボタンをクリックします。

「定義ファイル出力」画面



- ③ ファイル出力確認のメッセージ画面が表示されます。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。

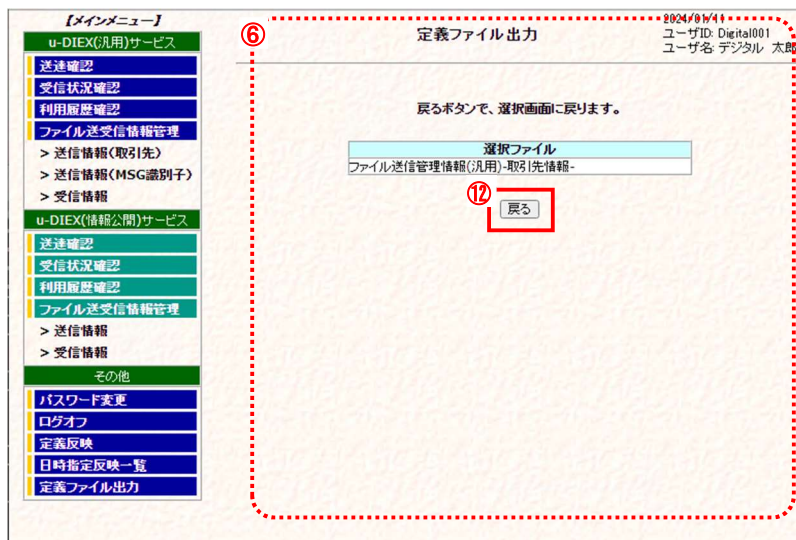


- ⑤ ダウンロード完了メッセージが表示されます。

「ダウンロード時の動作を毎回確認する」の場合



- ※ブラウザ設定で「ダウンロード時の動作を毎回確認する」がONになっている場合は、以下の操作が可能です。
- ・[開く]  
出力対象のファイルがCSV形式で開きます。
  - ・[名前を付けて保存]  
任意の格納先を指定してダウンロードできます。
  - ・[保存]  
ブラウザのダウンロード設定に登録しているフォルダにダウンロードされます。
  - ・[X]  
ファイルダウンロードをキャンセルします。



⑥ 選択画面に戻るための画面が表示されます。

※選択されたファイル名が表示されます。

⑦ [戻る]ボタンをクリックします。

※5.3.1(1)の「定義ファイル出力」画面へ遷移します。

## 6. u-DIEX(汎用)サービスの「ファイル ID」について

### 6.1.送信情報の「ファイル ID」と 配信管理情報の「ファイル ID」

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」u-DIEX(汎用)サービスの”送信情報(MSG 識別子)”で登録される「ファイル ID」は、お客様が HULFT 管理画面で登録する”配信管理情報”の「ファイル ID」となります。ファイル送信をする際には、対象となる「ファイル ID」が登録されていることを確認して下さい。ここで正しく登録されていないと、送信することができません。

\* HULFT の操作に関しましては、HULFT のマニュアルをご覧ください。

送信情報(MSG 識別子情報) 更新  
【u-DIEX(汎用)サービス】(詳細) 2024/03/06  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

戻る

ホスト名 E8489  
MSG識別子 ITDCF01  
ファイル形式 自由形式(送信情報ファイル)  
**ファイルID ITDCF01**  
EBCDICセット  
暗号キー

送信情報で登録する「ファイル ID」と、  
HULFT 配信管理情報で登録する  
「ファイル ID」は同一の値を設定します。

HULFT 管理画面(B8489)  
ファイル(F) 表示(V) 状況照会(B) システム管理(M) 要求発行(R) ツール(T) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

配信管理情報一覧  
開じる(O) コピー(P) 削除(D) 検索(K) 更新(U) 9件

ファイルID ITDCF01 OK

ファイルID コメント  
ITDCF01 自由形式フォーマット

配信管理情報更新  
開じる(O) 保存(S) 削除(D)

ファイルID ITDCF01

基本設定 | 拡張設定

ファイル名 C:\HULdig\SD\sdf 参照

転送タイプ  
 FORMAT  BINARY  TEXT  MULTIFORMAT

圧縮レベル  
 圧縮なし  横圧縮  縦横圧縮

コード変換  
 配信制  集信制  無変換

圧縮単位

配信前シフトID  
正常時シフトID  
異常時シフトID  
連携DBID M/フォーマットID  
転送ルールID hulft

コメント 自由形式フォーマット

## 6.2.受信情報の「ファイル ID」と 集信管理情報の「ファイル ID」

「u-DIEX HULFT インターフェース支援システム」u-DIEX(汎用)サービスの”受信情報”で登録される「ファイル ID」は、お客様が HULFT 管理画面で登録する”集信管理情報”の「ファイル ID」となります。ファイル受信をする際には、対象となる「ファイル ID」が登録されていることを確認して下さい。ここで正しく登録されていないと、受信することができません。

受信情報更新  
【u-DIEX(汎用)サービス】(詳細) 2024/03/06  
ユーザID: Digital001  
ユーザ名: デジタル 太郎

戻る

管理名	O999T01
MSG識別子	ITDCF01
ファイル形式	自由形式(受信情報ファイル)
転送単位	個別 受信異常時 受信継続なし
ファイルID	ITDCF01
転送タイプ	BINARY
コード変換	集信側
EBCDICセット	自動
シフトコードの扱い	付加なし

受信情報で登録する「ファイル ID」と、  
HULFT 集信管理情報で登録する  
「ファイル ID」は同一の値を設定します。

HULFT 管理画面(B8489)  
ファイル(E) 表示(V) 状況照会(B) システム管理(M) 要求発行(R) ツール(T) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

集信管理情報一覧  
9件

ファイルID ITDCF01 OK

ファイルID コスト

ITDCF01  
ITDCF01  
ITDCF01  
OWN2OWN  
OWN2TOP  
TEST01  
TEST1S  
TEST3  
USA2OWN

集信管理情報更新  
閉じる(C) 保存(S) 削除(D)

ファイルID ITDCF01

基本設定 拡張設定

ファイル名 @HULdig#RV#dataF.dat 参照

登録モード 置き換え 集信形態 単一集信

異常時の処置 削除 世代管理 しない

ジョブ  
正常時ジョブID 異常時ジョブID

コスト

\* HULFT の操作に関しましては、HULFT のマニュアルをご覧ください。

## 7. 補足

### 7.1.用語説明

用語(名称)	説明(補足)
EDI-ID	サービスを利用する上で、ユーザを識別する為に付加されるID。 プロセスIDの”@”より前の文字列を指します。 (例:プロセスID = O999T01@UDCOM ⇒ EDI-ID = O999T01)
MSG 識別子 (メッセージ識別子)	データ授受に利用するファイルを識別する為に付加されるID。 (半角大英数字 8 桁以内)
ファイル形式	送受信するファイルの規格。
TNS 標準形式	ファイル形式の一種。 TNS 準拠のフォーマット。1 レコード 250 バイト固定。 宛先取引先コード、発信元取引先コードは各 5 桁。ファイルコードは 3 桁。
TNS 標準形式(送/受信情報ファイル)	データの規則は TNS 準拠のフォーマットに順ずる。 宛先、発信元指定を TNS レコード内でなく送/受信情報ファイルで行う形式。
TNS 拡張形式	ファイル形式の一種。 新 TNS よりサポートしている TNS 準拠の新フォーマット。1 レコード 1000 バイト。 「宛先取引先コード+宛先サブアドレス」、「発信元取引先コード+発信元サブアドレス」で各 8 桁。ファイルコードは 3 桁+ファイル詳細コード 5 桁。
TNS 拡張形式(送/受信情報ファイル)	データの規則は新 TNS よりサポートしている TNS 準拠の新フォーマットに順ずる。 宛先、発信元指定を TNS レコード内でなく、送/受信情報ファイルで行う形式
自由形式(送信情報ファイル)	ファイル形式の一種。 文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 送信に必要な情報(ファイル名・宛先)を、別ファイルに用意し、データファイルと HULFT 結合して送る必要がある形式です。
自由形式(受信情報ファイル)	ファイル形式の一種 文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 受信時に必要な情報(発信元、データの種別等)を別ファイルに用意し、データファイルと HULFT 結合された状態で受信する形式です。
自由形式(送信情報レコード)	ファイル形式の一種。 データの文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 送信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII。文字コードに EBCDIC を指定した場合は、レコード長を「40~999999」の間で指定。 送信に必要な情報(ファイル名、宛先)を、データファイルの 1 行目に記述することで、送信情報ファイルを用意することなく、そのまま送信することが出来る形式です。
自由形式(受信情報レコード)	ファイル形式の一種。 データの文字コードは任意。データフォーマットの規定なし。 受信情報レコードの文字コードは EBCDIC または ASCII。文字コードに EBCDIC を指定した場合は、レコード長を「48~999999」の間で指定。 受信時に必要な情報(発信元、データの種別等)をデータファイルの 1 行目に記述することで、受信情報ファイルなしで受信することが出来る形式です。
固定長形式	ファイル形式の一種。 ご利用のホストがメインフレーム・AS400 の場合にのみご利用が可能で、受信ファイル毎に必要な情報(発信元、データの種別等)が区切りレコードとして付与されます。 文字コードは EBCDIC。レコード長は「30~999999」の間で指定。
取引先コード	EDI-ID が所属する会社を識別する為に付与されるコード。(半角英数 5 桁)
拠点コード	EDI-ID が所属する会社の中で、部署(拠点)を識別する為に付与されるコード。 (半角英数 3 桁) 同意語 : 「取引先サブアドレス」「サブアドレス」
発信元	授受するデータファイルを送信する側。 同意語 : 「送信元」
宛先	授受するデータファイルを受信する側。 同意語 : 「送信先」「相手先」「相手」

用語(名称)	説明(補足)
転送単位	複数ファイル受信時の受信方法。 「個別」は、複数ファイルを1ファイルずつ受信します。 「一括」は、複数ファイルを1ファイルにまとめて受信します。 ただし「個別」でエラー発生時は「受信継続あり」「受信継続なし」で動作が異なります。(詳細は「u-DIEX HULFT インターフェース利用マニュアル」参照)
管理名	ファイル送受信に必要な諸情報を、管理する為に付与される名称。 通常は「EDI-ID」と同値になりますが、お客様のご利用形態によって「EDI-ID_取引先コード」、「EDI-ID_ホスト名」など表記が異なる場合があります。
ホスト名	HULFT が導入されているサーバの名称。 他のユーザとの重複を避けるため、原則として、「”B”+取引先コードと設定していただきます。